



茨城県

令和3年度

業務概要

茨城県中央保健所

目 次

◎ 概 況

1	中央保健所のあゆみ	1
2	管内の概況	5
3	保健所の組織及び分掌事務	7
4	職員構成	8
5	保健所の健康相談	9
6	令和2年度歳入歳出決算	10
7	水戸保健医療福祉協議会委員名簿	11
8	水戸地域医療構想調整会議委員名簿	12
9	中央保健所感染症診査協議会委員名簿	13
10	保健所非常勤嘱託医師名簿	14
11	管内の位置	15

◎ 令和2年度 事務事業の概要

総務課業務の概要	16
1 庶務	16
2 管理	16
地域保健推進室業務の概要	17
1 地域保健	19
2 医事	20
3 介護保険	21
4 総合相談	21
5 厚生統計	21
6 医療従事者免許	21
衛生課業務の概要	28
1 食品衛生	31
2 薬事衛生	34
3 献血・骨髄バンク	36
4 環境衛生	37
5 水道	39
監視指導課業務の概要	40
1 食品監視	42
2 薬事監視	45
3 環境監視	47
健康増進課業務の概要	48
1 健康づくり	51
2 栄養改善指導・管理	51

3	食育	53
4	歯科口腔保健	53
5	母子保健	54
6	難病対策	56
7	アスベスト対策	64
8	肝炎対策	64
	保健指導課業務の概要	65
1	感染症予防対策	67
2	エイズ予防対策	69
3	結核予防対策	71
4	原子爆弾被爆者対策	74
5	予防接種対策	75
6	精神保健福祉対策	75
7	看護学生実習並びに保健師等人材育成関連事業	79

◎ 令和3年度 事務事業計画概要

1	基本方針	80
2	重点事業	80
3	各課の主要事業計画	81
	(1) 総務課	81
	(2) 地域保健推進室	81
	(3) 衛生課	82
	(4) 監視指導課	83
	(5) 健康増進課	85
	(6) 保健指導課	86
4	令和3年度事務事業計画	89

概 況

1 中央保健所のあゆみ

- 昭和 19.10. 1 茨城県水戸保健所を水戸市大町に開設
管内 水戸市外 6 町 32 村
面積 596.26k m² 人口 323,314 人
初代所長 鈴木 達 就任
20. 8. 2 戦災のため焼失、県立水戸商業学校内の仮庁舎に移転
22. 9. 5 保健所法全面改正公布（昭和 22 年法律第 101 号）
23. 1. 1 保健所法改正施行（昭和 22 年政令第 232 号）
4.20 鈴木所長退職 2 代所長として志村保就任
7.31 水戸市五軒町 1251 番地に庁舎移転
8. 1 志村所長転出 3 代所長として川崎正己就任
所内組織は、庶務、普及、保健予防、衛生の 4 課制となる。
8.16 性病診療所併設
24. 7. 8 川崎所長転出 4 代所長として再び志村保就任
25. 3.31 志村所長退職 5 代所長として後藤亨三郎就任
11.15 後藤所長は県衛生部長に転出
6 代所長として再び川崎正己就任
27. 5.26 優生保護相談所併設
7. 1 川崎所長退職 所長心得として石橋孝就任
12.15 精神衛生相談所併設
28. 1.28 所内組織は、庶務、保健予防の 2 課制となる。
29. 7. 1 保健所管轄区域変更（県告示第 659 号）
那珂湊保健所新設に伴い、当所管内は水戸市外 24 町村となる。
面積 398.65 k m² 人口 188,880 人
- 29.11.25 石橋所長心得転出 7 代所長として福沢茂就任
30. 4. 1 保健所管轄区域変更（県告示 832 号）により管内は水戸市外
7 町村（町村合併による）となる。
面積 357.46 k m² 人口 176,539 人
31. 9. 1 茨城県組織規則第 24 条により衛生課を設置し、庶務、衛生、
保健予防の 3 課制になる。
33. 3. 5 東茨城郡石崎村が茨城町へ編入のため管轄区域の変更があり、
管内は水戸市外 5 町村となる。
面積 405.59 k m² 人口 195,343 人
33. 4. 1 東茨城郡赤塚村、水戸市へ編入のため管轄区域変更があり、
当所管内水戸市外 4 町村となる。
- 34.10.20 茨城県組織規制の改正により庶務課を総務課と改める。
36. 2.20 保健所庁舎改築のため、水戸市東原 2 丁目 5136 番地に起工式
を行う。
37. 2.20 保健所改築落成 UR2 型 敷地 3,570.24 m² 945,000 円

			本館 鉄筋コンクリート2階建	延べ 1,199.98 m ²	26,246,139 円
昭和	37.	3.23	竣工記念式典を行う。		
	39.	4.1	管内人口	1市3町1村	217,595 人となる。
	40.	4.1	福沢所長 公衆衛生看護学校長に転出 8代所長として大串章就任		
	41.	4.1	管内人口	216,697 人	世帯数 53,764 世帯
	42.	4.1	〃	219,938 人	〃 55,612 世帯
	43.	4.1	〃	227,098 人	〃 56,039 世帯
		5.1	町名変更により水戸市緑町3丁目5番35号となる。		
		7.1	茨城県組織規制の改正により、総務課、衛生課、保健予防課、保健婦室の3課1室となる。		
	44.	4.1	管内人口	227,353 人	世帯数 56,342 世帯
	45.	4.1	〃	232,142 人	〃 57,945 世帯
	46.	4.1	〃	234,643 人	〃 62,939 世帯
	47.	4.1	〃	240,201 人	〃 65,017 世帯
		6.1	茨城県組織規制の改正により、総務課、衛生課、保健予防課、保健婦室、公害室の3課2室となる。		
	48.	4.1	管内人口	245,083 人	世帯数 67,011 世帯
	49.	4.1	〃	249,145 人	〃 68,252 世帯
		6.1	係制が設置され、総務課、衛生課、保健予防課に係が設置される。		
	50.	4.1	管内人口	254,179 人	世帯数 70,073 世帯
		5.1	型別、人口数別格付UR I型となる。		
		6.1	次長制が設置され、次長兼総務課長となる。		
	51.	4.1	管内人口	260,568 人	世帯数 75,007 世帯
		6.1	茨城県組織規制の改正により、総務課、衛生課、保健予防課、保健婦室、公害室、獣医務室の3課3室となる。		
	52.	4.1	管内人口	264,901 人	世帯数 76,569 世帯
	53.	4.1	〃	269,738 人	〃 78,392 世帯
		6.2	係長制廃止、担当グループ制となる。		
	54.	4.1	管内人口	273,723 人	世帯数 80,331 世帯
		6.1	茨城県組織規制の改正により、総務課、衛生課、保健予防課、保健婦室、公害室の3課2室となる。		
	55.	4.1	管内人口	227,968 人	世帯数 82,468 世帯
	56.	3.31	〃	280,530 人	〃 85,419 世帯
	57.	3.31	管内人口	284,132 人	世帯数 87,085 世帯
		5.31	大串所長退職		
	57.	6.1	9代所長として北見篤四郎就任		
	58.	4.1	管内人口	287,453 人	世帯数 88,729 世帯
	59.	4.1	〃	290,728 人	〃 90,495 世帯

昭和 60. 3.31 北見所長退職

60.	4. 1	10 代所長として中村卓郎就任			
	4. 1	管内人口	292,657 人	世帯数	91,866 世帯
61.	4. 1	〃	296,663 人	〃	93,433 世帯
62.	4. 1	〃	298,785 人	〃	94,808 世帯
	5.31	中村所長石岡保健所長に転出			
	6. 1	11 代所長として竹村宏之就任			
63.	4. 1	管内人口	300,295 人	世帯数	96,103 世帯
平成元.	4. 1	〃	301,341 人	〃	97,278 世帯
	2. 3.31	茨城県組織規制の改正により、公害室廃止（県北地方総合事務所へ移管）			
	2. 3.31	竹村所長潮来保健所長に転出			
	2. 4. 1	管内人口	302,351 人	世帯数	98,599 世帯
	2. 4. 1	茨城県組織規制の改正により、総務課、衛生課、監視指導課、健康増進課、保健指導課の 5 課となる。			
	2. 4. 1	12 代所長として中村卓郎就任			
	3. 3.31	中村所長退職			
	4. 1	管内人口	302,923 人	世帯数	101,097 世帯
	4. 1	13 代所長として竹村宏之就任			
	6. 1	水戸市笠原町 993-2 に庁舎移転			
	4. 3. 3	東茨城郡常澄村が水戸市と合併			
	4. 4. 1	管内人口	323,484 人	世帯数	105,265 世帯
	5. 4. 1	〃	315,002 人	〃	106,845 世帯
	6. 4. 1	茨城県行政組織条例の改正により、当所管内に小川町、美野里町、御前山村及び大洗町が入り、1 市 8 町村となる。 管内面積 630.14 k m ² 管内人口 383,653 人 世帯数 127,776 世帯			
	6. 4. 1	茨城県行政組織規制の改正により、総務課、衛生課、監視指導課、健康増進課、保健指導課、検査課の 6 課となる。			
	7. 3.31	竹村所長退職			
	7. 4. 1	管内人口	383,120 人	世帯数	129,502 世帯
	4. 1	14 代所長として村田明就任			
	8. 4. 1	管内人口	383,745 人	世帯数	130,643 世帯
	9. 4. 1	〃	384,704 人	〃	132,608 世帯
	10. 4. 1	管内人口	385,984 人	世帯数	134,634 世帯
	11. 4. 1	保健所再編により茨城県行政組織条例が改正され、笠間保健所を統合し、当所管内に笠間市、友部町、岩間町、七会村及び岩瀬町が入り、2 市 12 町村となる。 管内面積 1,020.69 k m ²			

		管内人口	494,252人	世帯数	168,613世帯
平成	12. 3. 31	村田所長退職			
	12. 4. 1	15代所長として藤枝隆就任			
	4. 1	管内人口	495,898人	世帯数	171,198世帯
	13. 4. 1	〃	493,061人	〃	170,739世帯
	14. 4. 1	〃	493,715人	〃	173,032世帯
	15. 4. 1	〃	494,061人	〃	175,099世帯
	16. 4. 1	〃	494,229人	〃	177,194世帯
	10. 16	御前山村が市町村合併により常陸大宮市となり、大宮保健所の管轄となる。			
	17. 2. 1	内原町が市町村合併により水戸市に編入される。			
	17. 2. 1	常北町、桂村、七会村が市町村合併により城里町となる。			
	17. 4. 1	管内人口	490,648人	世帯数	177,953世帯
	17. 10. 1	岩瀬町が市町村合併により桜川市に編入される。			
		管内面積	904.47 k m ²		
	18. 3. 19	笠間市、友部町、岩間町が市町村合併により笠間市となる。			
	18. 3. 27	小川町、美野里町、玉里村が市町村合併により小美玉市となる。			
	18. 4. 1	管内人口	473,199人	世帯数	173,039世帯
	19. 4. 1	〃	472,901人	〃	175,146世帯
	20. 4. 1	〃	472,261人	〃	177,274世帯
	21. 3. 31	藤枝所長転出			
	4. 1	16代所長として大和慎一就任			
		事務の特定保健所への一部集約により、ひたちなか及び常陸大宮保健所の介護保険、衛生統計を水戸保健所において担当することになった。			
		管内人口	472,073人	世帯数	179,556世帯
	22. 4. 1	〃	471,959人	〃	181,671世帯
	23. 4. 1	〃	473,723人	〃	182,984世帯
	24. 4. 1	〃	471,604人	〃	184,382世帯
	25. 4. 1	〃	470,903人	〃	186,275世帯
	26. 3. 31	茨城県組織規制の改正により、検査課が廃止（衛生研究所へ移管）され総務課、衛生課、監視指導課、健康増進課、保健指導課の5課となる。			
	26. 4. 1	管内人口	469,953人	世帯数	188,239世帯
	27. 4. 1	〃	468,421人	〃	190,095世帯
	28. 3. 31	大和所長退職			
	28. 4. 1	17代所長として土井幹雄就任			
		事務事業の集約により、次の業務等が水戸保健所担当となる。			
		・ひたちなか保健所地域保健推進室業務（一部事務を除く）			
		・ひたちなか及び常陸大宮保健所の栄養指導			

・精神保健福祉センターの総務事務

平成 28.	4.	1	管内人口	466,804 人	世帯数	188,964 世帯
	29.	4.	〃	464,757 人	世帯数	190,716 世帯
	30.	4.	〃	462,434 人	世帯数	192,231 世帯
	31.	4.	〃	460,050 人	世帯数	194,016 世帯

令和元.11. 1 保健所再編により、次の業務等がひたちなか保健所担当となる。

- ・ひたちなか保健所地域保健推進室業務(一部事務を除く)
- ・ひたちなか及び常陸大宮保健所の栄養指導及び監視指導

2. 4. 1 水戸市が中核市に移行したことにより、水戸市保健所管轄となる。

水戸保健所から中央保健所へ名称変更

18代所長として吉見富洋就任

管内人口 188,508 人 世帯数 73,470 世帯

3. 4. 1 〃 185,975 人 世帯数 72,820 世帯

2 管内の概況

中央保健所の管内は、笠間市、小美玉市、茨城町、大洗町、城里町の2市3町から構成されており、面積は692.41km²、人口は185,975人(令和3年4月1日現在)となっている。

位置は茨城県のほぼ中央部にあり、北には那珂川が流れ、東は太平洋を望み、西は栃木県に接し、南は霞ヶ浦に至る区域で、首都東京からはほぼ100km圏内にある。

地勢は、栃木県に接する笠間市、城里町は八溝山系の南部にあたり山間地域が多いが、これら以外の市町はほとんどが平坦地で関東平野の一部となっている。

交通は、主要道路である国道6号線、国道50号線、国道123号線と多くの県道との道路網が整備されており、管内は概ね60分以内で移動が可能になっている。鉄道は、県内の機軸となるJR常磐線と管内を横断するJR水戸線が水戸市、笠間市を通過している。

東北自動車道、関越自動車道と常磐自動車道を結ぶ北関東自動車道が平成23年3月に全線開通し、常磐自動車道との結節点となり、平成22年3月に空の玄関口である茨城空港が開港していることから、広域交通体系の中心地として今後ますますの発展が期待されている。

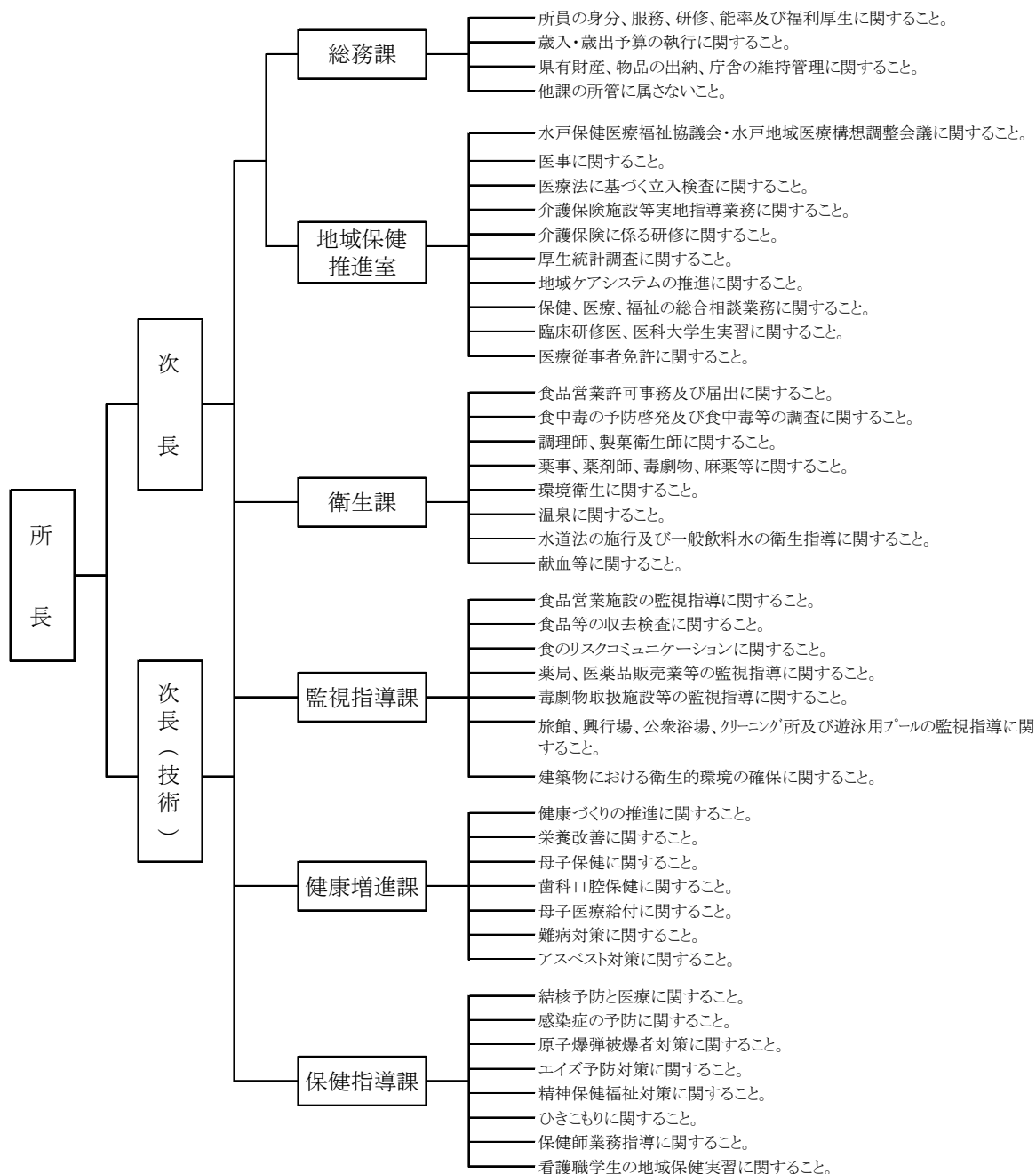
管内の面積・人口及び世帯数

(令和3年4月1日現在)

市 町 村 名	面積(km ²)	人口(人)	世帯数 (世帯)	人口密度 (人/km ² 当り)
笠間市	240.40	72,849	29,119	303.0
小美玉市	144.74	48,424	18,383	334.6
茨城町	121.58	31,192	11,774	256.6
大洗町	23.89	15,585	6,633	652.4
城里町	161.80	17,925	6,911	110.8
計	692.41	185,975	72,820	268.6

資料：県政策企画部統計課「茨城県の人口と世帯」

3 保健所の組織及び分掌事務



4 職員構成

(令和3年4月1日)

区分 課別	事務職員	技術職員										会計 年度 任用 職員	育休 産休 補助 職員	計	
		医 師	獣 医 師	薬 劑 師	放 射 線 技 師	臨 床 検 査 技 師	栄 養 士	管 理 栄 養 士	保 健 師	歯 科 医 師	農 芸 化 学				化 学
総務課	5 (1)	1													6 (1)
(地域保健 推進室)	3				1				1						5
衛生課	2		1	3											6
監視指導課			2	2										1	5
健康増進課	5 (1)							1	1	1			3	1	12 (1)
保健指導課	3								6				1		10
計	18 (2)	1	3	5	1			1	8	1			4	2	44 (2)

※ () は再任用職員の内数である。

5 保健所の健康相談

保健所では次の健診及び健康相談を行っている。

健診・健康相談一覧

(令和3年4月1日現在)

業務内容	実施日	受付窓口	相談時間	受付
精神保健相談	毎月第1・4金曜日	保健指導課	14:00～16:00 (予約制)	随時
ひきこもり専門相談	毎月第2金曜日		14:00～16:00 (予約制)	随時
結核健康診断	毎月第4水曜日		13:30～15:00	随時
B型、C型肝炎 相談・検査	毎週火曜日		9:00～10:00 (予約制)	随時
エイズ、クラミジア、 梅毒 相談・検査	毎週火曜日		9:00～10:00 (予約制)	随時
夜間エイズ、クラミジ ア、梅毒、B型・C型肝 炎 相談・検査	毎月第2火曜日		17:00～19:00 (予約制)	随時
発達相談	毎月第1・4木曜日	健康増進課	13:00～17:00 (予約制)	随時

6 令和2年度歳入歳出決算

歳 入

(単位:円)

科 目	調定額	収入額	不納欠損額	収入未済額
使用料及び手数料	302,435	302,435	0	0
財産収入	908,921	908,921	0	0
諸収入	374,645	142,010	0	232,635
計	1,586,001	1,353,366	0	232,635

歳 出

(単位:円)

科 目	予 算 額	支 出 額	残 額
管理諸費	41,800	41,800	0
保健福祉費	102,118,359	102,118,359	0
厚生総務課	10,912,744	10,912,744	0
健康・地域ケア 推進課	51,984,018	51,984,018	0
疾病対策課	5,402,882	5,402,882	0
少子化対策課	30,300,297	30,300,297	0
障害福祉課	1,352,522	1,352,522	0
医療政策課	138,000	138,000	0
薬務課	970,000	970,000	0
生活衛生課	1,017,896	1,017,896	0
水政課	40,000	40,000	0
合計(管理諸費+保健 福祉費)	102,160,159	102,160,159	0

7 水戸保健医療福祉協議会委員名簿

(令和3年4月1日現在)

区 分	氏 名	役 職 名
学識経験者	高橋 靖	水戸市長
	國井 豊	大洗町長
	谷津 成久	水戸警察署長
	小泉 直紀	水戸市消防本部消防長
	土井 幹雄	水戸市保健所長
	川津 隆	茨城県議会議員
	常井 洋治	茨城県議会議員
保健医療分野	原 毅	水戸市医師会長
	常井 実	笠間市医師会長
	會澤 治	県央医師会長
	大澤 賢祐	水戸市歯科医師会長
	中島 貞子	茨城県看護協会専務理事
	奥田 猛	水戸薬剤師会長
	生澤 義輔	水戸済生会総合病院長
	山口 高史	独立行政法人国立病院機構 水戸医療センター院長
	島居 徹	県立中央病院長
	高木 茂平	水戸食品衛生協会長
	堀野辺洋子	中央保健所・水戸市保健所管内食生活改善 推進協議会長
福祉分野	保立 武憲	水戸市社会福祉協議会長
	若松 幸子	NPO 法人茨城県ケアマネジャー協会副会長
	根本 玄	茨城県老人福祉施設協議会理事

8 水戸地域医療構想調整会議委員名簿

(令和3年4月1日現在)

区分		氏名	役職
医療関係団体	医師会	原 毅	水戸市医師会長
		常井 実	笠間市医師会長
		會澤 治	県央医師会長
	歯科医師会	大澤 賢祐	水戸市歯科医師会長
	薬剤師会	奥田 猛	水戸薬剤師会長
	看護協会	中島 貞子	茨城県看護協会専務理事
	病院協会	諸岡 信裕	茨城県病院協会会長
保険者	木城 洋	全国健康保険協会茨城支部長	
福祉関係団体	保立 武憲	水戸市社会福祉協議会長	
介護事業者	木村 都央	茨城県老人福祉施設協議会理事	
住民代表	堀野辺 洋子	中央保健所・水戸市保健所管内食生活改善推進協議会長	
市町村	高橋 靖	水戸市長	
	國井 豊	大洗町長	
保健所	吉見 富洋	中央保健所長	
	土井 幹雄	水戸市保健所長	
基幹病院等	生澤 義輔	水戸済生会総合病院長	
	山口 高史	国立病院機構水戸医療センター院長	
	佐藤 宏喜	水戸赤十字病院長	
	渡辺 重行	総合病院水戸協同病院院長	

基幹病院等		島居 徹	茨城県立中央病院長
		平澤 直之	北水会記念病院長
		家田 俊也	大洗海岸病院長
		土田 博光	水戸病院長
		丹野 英	丹野病院長
		伊藤 道子	志村病院理事長
		大場 正二	大場内科クリニック院長
学識 経験者	消防	小泉 直紀	水戸市消防局消防局長
	大学	田宮 菜奈子	筑波大学教授

9 中央保健所感染症診査協議会委員名簿

(令和3年4月1日現在)

区 分	氏 名	所 属 職 名	委 嘱 年 月 日
委 員	小原 克之	水戸赤十字病院統括管理監	平成 11. 4. 1
〃	白土 彩佳	あやか内科クリニック院長	令和 3. 4. 1
委 員 (結核部会)	斎藤 武文	国立病院機構茨城東病院院長	平成 17. 4. 1
〃 (〃)	鶴田 敦	(医)秀仁会 さくらクリニック名誉院長	平成 14. 8. 1
〃 (〃)	鏑木 孝之	茨城県立中央病院副院長	平成 27. 4. 1
〃 (〃)	安藤みゆき	茨城女子短期大学教授	令和 3. 4. 1
〃 (〃)	水口 愛理	水口・野村法律事務所 弁護士	令和 3. 4. 1

10 保健所非常勤嘱託医師名簿

(令和3年4月1日現在)

職 種	氏 名	所 属	委嘱年月日
医 師	菊池 久恵	菊池 整形 外科 医院	平成 22. 4. 1
”	岩切 ちひろ	石 崎 病 院	令和元. 9. 1

11 管内の位置

(令和3年4月1日現在)



令和 2 年 度
事務事業の概要

総務課業務の概要

1 庶務

当所職員の人事・サービス・健康等を管理するとともに資質の向上を図るため、各種研修、事務事業の効率化を図るための業務管理及び職員に対する各種表彰・推薦等に関する事務を行った。

2 管理

当所予算における歳入・歳出事務と予算の執行管理を行うほか、庁舎など公有財産の維持管理及び公用車の安全運転管理等を行った。

(消防訓練)

期 日	場 所	参加者数	訓練内容
令和2年 11月27日(金)	いばらき予防医 学プラザ敷地内	中央保健所 10名	避難訓練 消火訓練
		衛生研究所 12名	
		精神保健福祉センター 4名	
		県立健康プラザ 5名	
		エネルギーセンター 1名	
計 32名			

地域保健推進室業務の概要

1 地域保健

(1) 水戸保健医療福祉協議会

地域における保健・医療・福祉関係者から広く意見を聴取し、地域の実情を踏まえた総合的な保健医療施策を計画的に推進し、健康で安全な地域づくりを推進するため、水戸保健医療福祉協議会を設置しているが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により開催を見送った。

(2) 水戸地域医療構想調整会議

水戸医療圏の医療需要の将来推計や各病床機能の将来の必要量等について、地域にふさわしい病床機能の分化と連携を適切に推進することを目的に、水戸地域医療構想調整会議を開催した。

(3) 地域救急医療対策

救急医療体制の確保のため、救急告示医療機関、救急協力医療機関の認定等に関わる事務を行った。

(4) 健康危機管理体制の整備

感染症の拡大、災害、事故などによる地域住民の健康被害を最小限に防ぐため、各種対策班等の体制を整備する。

(5) 地域ケアシステム推進事業

各市町が在宅の高齢者や障害者等に対して保健・医療・福祉の各種サービスを提供するために組織している、「在宅ケアチーム」の効果的な運営を協議するためのサービス調整会議に出席し、個別ケース援助等に係る助言を行った。

(6) 地域リハビリテーション体制強化事業

地域リハビリテーション推進を図るため、地域リハビリテーション体制強化事業費補助金交付要項に基づき、支援センター等として指定を受けた医療機関に対し、事業に必要な経費について補助金の交付を行った。

(7) 医療提供施設等グループ化推進事業

在宅医療への参入又は拡充に取り組む医療機関の裾野を広げていくため、医療機関及び訪問看護事業所で連携を図り地域で支え合う体制構築に必要な経費について補助金の交付を行った。

(8) 医学生等の公衆衛生実習

筑波大学の医学生を受け入れ、保健所の役割や地域における保健衛生活動の実際について習得させるための実習を行った。

2 医 事

(1) 許認可事務

医療法、あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師等に関する法律、柔道整復師法に基づく許認可等の事務を行った。

また、医療法第27条に基づく使用許可申請のあった施設については、使用前検査を実施し、適正な医療の提供と管理が行われるよう指導した。

(2) 医療施設等立入検査

茨城県病院等立入検査要綱並びに茨城県病院等立入検査実施要領に基づき診療所の立入検査を実施し、医療安全に係る意識啓発等を行うことにより、良質かつ適正な医療が提供される体制の確保に努めた。なお、病院については、新型コロナウイルス感染症のまん延状況等を鑑み、立入検査を実施しないこととした。

3 介護保険

(1) 介護保険施設等実地指導

茨城県介護保険施設等指導要綱に基づき、介護給付等対象サービスの質の確保及び保険給付の適正化を図ることを目的に、介護老人保健施設等に対し実地指導を行った。併せて適切な衛生管理について指導した。

(2) 市町村介護予防事業担当者研修

介護予防事業に取り組む市町村職員等に対し、事業の適切かつ効果的な推進を図ることを目的とした研修会を開催した。

4 総合相談

保健、医療及び福祉に係る総合的な相談窓口として、住民等からの相談業務を行った。相談内容から改善や確認等が必要と判断した場合は、関係機関に事情等を聴取し適切な対応を講じるよう指導した。

5 厚生統計

人口の動向を常時把握することを目的として、統計法等に基づき、人口動態調査を行った。

また、医療行政の基礎資料を得ることを目的として、患者調査、受療行動調査を行った。

6 医療従事者免許

医療従事者の各種免許証の申請事務を行った。

1 地域保健

(1) 水戸地域医療構想調整会議

- ア 医療機関の病床変更について、令和2年11月に2回、書面審議として開催した。
- イ 再検証対象医療機関における具体的対応方針の再検証について書面にて意見聴取を行った。

(2) 水戸保健医療圏における地域外来検査センター設置準備

圏域医療圏医師会及び水戸市保健所と検討会を開催し、地域外来検査センターの設置を支援した。

(3) 地域救急医療対策（中央保健所管内）

- 救急告示医療機関 病院 6
- 救急協力医療機関 病院 4、診療所 6

(4) 健康危機管理体制の整備

- ア 体制整備
 - ・原子力防災救護所設置運営チーム
 - ・感染症防疫業務連絡網

(5) 地域ケアシステム推進事業等

- | | | |
|-----|-------------------|-----------|
| 水戸市 | 水戸市医師会在宅医療事例検討会 | 1回出席 |
| 笠間市 | 地域包括支援センター運営協議会 | 1回書面 |
| 城里町 | 城里町ネットワーク連絡会 | 1回出席 |
| 大洗町 | 認知症初期集中支援チーム検討委員会 | 1回出席、1回書面 |

(6) 地域リハビリテーション体制強化事業

- ・支援センター等指定一覧

指定区分	施設名	指定期間
地域リハビリテーション 広域支援センター	水戸赤十字病院	令和3年 3月31日 まで
地域リハ・ステーション	水戸赤十字病院	
	石岡循環器科脳神経外科病院	
	水戸済生会総合病院	
小児リハ・ステーション	北水会記念病院	令和4年 3月31日 まで
	茨城県立こども病院	
	水戸済生会総合病院	令和3年

小児リハ推進支援センター	愛正会記念茨城福祉医療センター	3月31日まで
訪問リハビリテーション・ステーション	訪問看護ステーションこづる	令和3年3月31日まで
	小川南病院	
	立川記念病院	
訪問リハ・老健ステーション	介護老人保健施設みがわ	令和3年3月31日まで
	介護老人保健施設くるみ館	
	介護老人保健施設エバーグリーン	

・補助事業の申請件数 4件

・補助事業の交付件数 2件

(申請件数4件のうち2件は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため事業中止)

(7) 医療提供施設等グループ化推進事業

・補助事業の申請及び交付件数 各3件

・笠間市医師会 医療提供施設等グループ化推進事業情報交換会 1回出席

(8) 医学生及び臨床研修医の実習指導

・医学生実習

研修依頼元：筑波大学

研修期間及び人数：

令和2年6月17日～6月18日 2日間 筑波大学4年次生5名

2 医事

(1) 医事関係許認可件数

区分	病院	一般診療所	歯科診療所	助産所
開設許可	0	40	1	0
使用許可	11	0	0	0
開設届	0	2	1	0
廃止届	0	46	2	0
変更許可	19	10	0	0

(2) 医療施設立入検査

区分	実施計画数	実施数	指摘施設数
病院	0	0	0
一般診療所	13	13	1
歯科診療所	9	8	0
助産所	0	0	0
計	22	21	1

(3) 医療施設特別立入検査

区 分	実施数	指摘施設数
病 院	0	0

(4) 市町別医療機関等 (表 1～3)

3 介護保険

(1) 介護保険施設等実地指導

- ・実地指導件数

事業所種類	件 数
訪問看護	2 件
通所リハビリ	1 件
予防訪問看護	2 件
予防通所リハビリ	1 件
合計	6 件

(2) 市町村介護予防事業担当者研修

開 催 日：令和 2 年 12 月 17 日(木)

場 所：茨城県立健康プラザ 会議室 1・2

内 容：講演「COVID-19 と向き合う生活」

～口を守り、心と体の生活を保つためにできること～

講師 公益社団法人茨城県歯科衛生士会 中村郁子 氏

参 加 者：8 名

4 総合相談

内 訳	苦情・相談対応件数 (延べ)
医療機関・施術所等に関する事	17 件
介護保険関係事業所・施設等に関する事	0 件
その他	0 件

5 厚生統計

(1) 人口動態調査 (表 4)

(2) 厚生統計調査事業等 (表 5)

6 医療従事者免許

(1) 医療従事者免許申請状況 (表 6)

表1 市町別医療機関等施設数

(令和3年4月1日現在)

施設区分		市町名		笠間市	小美玉市	茨城町	大洗町	城里町	計
		施設数	病床						
病 院	精神	施設数	1	1	1				3
		病床	525	281	244				1,050
	結核	施設数	(1)						1
		病床	25						25
	感染	施設数							0
		病床							0
	一般	施設数	4	3	1	1	1		10
		病床	611	170	500	142	50		1,473
	療養	施設数	(1)	1(1)	(1)	(0)			1
		病床	54	174	47	0			275
計	施設数	5	5	2	1	1		14	
	病床	1,215	625	791	142	50		2,823	
診 療 所	有床	施設数	2	2	2	0	0		6
		病床	38	18	38	0	0		94
	無床	施設数	37	18	18	9	9		91
		計	39	20	20	9	9		97
歯科診療所			34	14	13	7	7		75
助産所			1	0	0	0	0		1
施術所			60	30	13	19	12		134
歯科技工所			20	7	4	4	6		41
衛生検査所			0	0	0	0	0		0

※()は、複数の病床種別を有する施設の再掲

表2 救急告示医療機関

(令和3年4月1日現在)

	医療機関名	所在地
病院	茨城県立中央病院	笠間市鯉淵6528
	医療法人社団聖嶺会立川記念病院	笠間市八雲2-12-14
	小美玉市医療センター	小美玉市中延651-2
	石岡循環器科脳神経外科病院	小美玉市栗又四ヶ木ノ内1768-29
	独立行政法人国立病院機構水戸医療センター	東茨城郡茨城町桜の郷280
	大洗海岸病院	東茨城郡大洗町大貫町915

表3 病院一覧

(令和3年4月1日現在)

病 院 名	所 在 地	開 設 者	病 床 数					
			総数	精神	結核	感染	療養	一般
茨城県立中央病院	笠間市鯉淵6528	茨城県	500		25			475
茨城県立こころの医療センター	笠間市旭町654	茨城県	525	525				
笠間市立病院	笠間市南友部1966-1	笠間市	30					30
医療法人社団誠芳会石本病院	笠間市石井2047	医療法人社団誠芳会	45					45
医療法人社団聖嶺会立川記念病院	笠間市八雲2-12-14	医療法人社団聖嶺会	115				54	61
小美玉市医療センター	小美玉市中延651-2	小美玉市	80					80
医療法人白帆会小川南病院	小美玉市小川733	医療法人白帆会	90				90	
美野里病院	小美玉市西郷地1462	医療法人社団正信会	111				84	27
つくば病院	小美玉市高崎2032-6	医療法人聖和会	281	281				
石岡循環器科脳神経外科病院	小美玉市栗又四ヶ1768-29	医療法人石岡脳神経外科病院	63					63
独立行政法人国立病院機構 水戸医療センター	東茨城郡茨城町桜の郷280	独立行政法人国立病院機構	500					500
公益財団法人報恩会石崎病院	東茨城郡茨城町上石崎4698	公益財団法人報恩会	291	244			47	
大洗海岸病院	東茨城郡大洗町大貫町915	医療法人渡辺会	142					142
医療法人恒仁会石塚地方病院	東茨城郡城里町石塚1337	医療法人恒仁会	50					50
病床数計			2,823	1,050	25	0	275	1,473

表4 人口動態調査

調査期間：令和2年1月1日～令和2年12月31日

上段：数

下段：人口千対（率）

令和2年	出生	死亡	乳児死亡 ※1	新生児死亡 ※1	死産（自然） ※2	死産（人工） ※2	周産期死亡 ※3	婚姻	離婚	（参考） 分母に用いた人口
水戸市	1,969	2,961	9	3	26	22	8	1,203	443	267,019
	7.4	11.1	4.6	1.5	12.9	10.9	4.0	4.5	1.66	
笠間市	405	1,029	1	1	6	2	2	247	104	72,429
	5.6	14.2	2.5	2.5	14.5	4.8	4.9	3.4	1.44	
小美玉市	287	629	1	1	2	5	1	195	82	47,430
	6.1	13.3	3.5	3.5	6.8	17.0	3.5	4.1	1.73	
茨城町	155	417	2	1	2	2	1	86	54	30,845
	5.0	13.5	12.9	6.5	12.6	12.6	6.4	2.8	1.75	
大洗町	71	269	-	-	-	2	-	30	34	14,974
	4.7	18.0	0	0.0	0.0	27.4	0.0	2.0	2.27	
城里町	73	313	-	-	-	1	-	55	16	18,031
	4.0	17.4	0.0	0.0	0.0	13.5	0.0	3.1	0.89	
中央・水戸市 保健所管内計	2,960	5,618	13	6	36	34	12	1,816	733	450,728
	6.6	12.5	4.4	2.0	11.9	11.2	4.0	4.0	1.63	
茨城県	17,389	32,931	45	14	157	183	43	10,622	4,403	2,801,640
	6.2	11.8	2.6	0.8	8.9	10.3	2.5	3.8	1.57	
全 国	840,835	1,372,755	1,512	704	8,188	9,090	2,664	525,507	193,253	123,398,962
	6.8	11.1	1.8	0.8	9.5	10.6	3.2	4.3	1.57	

全国値参照：「人口動態総覧」（厚生労働省）

※1 乳児死亡率、新生児死亡率は出生千対である。

※2 死産率は死産数を出産数（死産数に出生数を加えたもの）で除している。

※3 周産期死亡数は（妊娠満22週以後の死産＋早期新生児死亡）である。

周産期死亡率は周産期死亡数を出産数（妊娠満22週以後の死産数に出生数を加えたもの）で除している。

表5 厚生統計調査事業等

＜令和2年度に実施した調査＞

人口動態調査、医療施設動態調査、病院報告、地域保健・健康増進事業報告、衛生行政報告例、医療施設静態調査、患者調査、受療行動調査、医師・歯科医師・薬剤師調査

表 6 医療従事者免許申請状況

(令和 2 年度)

免許類別		申請類別	新規申請	書換申請	再交付申請	抹消申請	合計
国 免 許	医師免許申請	9	4	1	2	16	
	歯科医師免許申請	1	0	0	2	3	
	保健師免許申請	8	3	0	0	11	
	助産師免許申請	0	1	0	0	1	
	看護師免許申請	65	42	8	0	115	
	臨床検査技師免許申請	8	2	0	0	10	
	衛生検査技師免許申請	0	0	0	0	0	
	診療放射線技師免許申請	6	3	0	0	9	
	理学療法士免許申請	9	5	0	0	14	
	作業療法士免許申請	3	4	0	0	7	
	視能訓練士免許申請	2	0	1	0	3	
	歯科技工士免許申請	0	0	0	0	0	
	死体解剖資格認定申請	0	0	0	0	0	
	小計	111	64	10	4	189	
県 免 許	准看護師免許申請	54	17	15	0	86	
	受胎調節実地指導員指定証交付申請	0	0	0	0	0	
	小計	54	17	15	0	86	
合計		165	81	25	4	275	

衛生課業務の概要

1 食品衛生

食品に対する消費者の不安・不信を解消するためには、食に関する総合的な安全対策を進める必要があり、保健所においても食品衛生業務の充実・強化を図っているところである。

食の安全・安心を確保するため、次の事務・事業を展開して食中毒の発生防止、不良食品等の流通防止、食に起因する健康不安の解消に努めた。

(1) 食品営業許可事務及び許可施設の監視

食品衛生法及び茨城県食品衛生条例に基づく営業許可等の事務並びに営業施設の監視指導を実施した。

なお、製造業、大型店舗、給食施設旅館等の監視指導は監視指導課の担当業務になっているが、情報の共有化を図り、連携して監視業務に遺漏がないようにした。

(2) 食品等の収去試験検査

県内で流通する食品等の安全を確保するため、食品衛生監視指導計画に基づき、計画的収去検査として、県内産農産物の残留農薬検査、畜水産食品の動物用医薬品検査や、食品全般を対象とする食品の成分規格検査及び買い上げ検査等を実施して、不良食品の排除に努めた。

(3) 食中毒事案等の処理及び食品関係苦情相談の受付

食中毒（疑いを含む。）事案が発生した場合は、患者又は有症者からの聞き取り調査及び保菌検査、原因施設（推定を含む。）の拭き取り検査、食材等の収去検査、従事者の保菌検査等を遅滞なく実施し、原因の特定と被害の拡大防止を図った。

なお、ノロウイルスが原因として疑われる場合には、食中毒調査と並行して、保健指導課と感染症の調査も実施して患者の拡大防止に努めた。

また、食品中の異物混入、食品の異味異臭、食品の表示その他食品に関する苦情相談を受付した場合は、すみやかに調査を行い、消費者の安全・安心の確保に努めた。

(4) 食中毒予防活動及び食品関係講習会

食中毒予防月間（7月～8月）には、横断幕の掲示や食品衛生推進員による店舗の巡回指導を実施した。

食の安全安心に係るリスクコミュニケーションの一環として、一般消費者を対象に、「水戸市産業祭」において「食品衛生フェア・食の安全安心相談会」を開催し、食品衛生や食中毒に関する正しい知識の普及に努めた。また、自然毒による食中毒が毎年家

庭で発生し、有毒な動植物の誤食が原因となっているため、啓発リーフレットを配布して注意喚起を行った。

(5) 各種イベントに伴う食品衛生対策

ア大洗海浜地区（夏期）

海水浴客が増加する海浜地区の売店や民宿等を監視指導した。イその他、管内各所で多種多様なイベントが開催されることから、指導と監視を行った。

(6) 学校等の大量調理給食施設の立入指導

学校・社会福祉施設・病院等の大量調理給食施設には、食品営業許可対象外の施設があり、これら施設に対しては、健康増進課及び総務課（地域保健推進室）と協力して立ち入り検査を実施し、A T Pによる拭取り検査等による衛生指導を行った。また、その他の給食施設であっても、ノロウイルスによる食中毒（感染症）予防対策を強化するために、啓発リーフレットを配布し、老人保健施設や社会福祉施設に重点的に配布するとともに、注意喚起のために監視指導を実施した。

(7) 食品衛生協会の活動支援

食品営業者による自主管理体制を促進するため、水戸食品衛生協会の運営についてアドバイスを行った。また、食品衛生功労者及び食品衛生優良施設について表彰するなど、業界の育成にも注力した。

2 薬事衛生

(1) 医薬品、医療機器の販売業等の許可等業務

薬局、店舗販売業及び医療機器販売業等の許可等事務及び監視を行い、保健衛生上の危害の発生及び拡大防止の徹底を指導した。

(2) 毒劇物の安全確保

毒劇物販売業の登録受付及び監視指導を行い、安全確保に努めた。

(3) 免許・資格等の申請事務

麻薬施用者免許、麻薬管理者免許、薬剤師免許、登録販売者等の免許・資格に関する事務を行った。

(4) 薬物乱用防止対策

県民への啓発の一環として、麻薬・覚せい剤乱用防止運動を実施した。また、茨城県薬物乱用防止指導員水戸地区協議会の協力を得て、中高生等を対象とした薬物乱用防止教室を開催した。

この他、管内で開催されるスポーツ大会会場や若者が集う各種イベント会場等到大横断幕を掲示し啓発活動に努めた。

(5) 不正大麻・けし撲滅運動

4月下旬から7月が不正大麻・けし撲滅運動強調月間で、この

期間中はパトロールを強化して、不正大麻・けしの発見、抜去、啓発に努めた。

3 献血・骨髄バンク

血液センター及び市町献血推進組織と連携して献血意識の高揚に努め、血液の確保を図った。また、各種の催事やキャンペーンを通じて献血の重要性をPRした。

骨髄バンク事業は、「献血併行型ドナー登録会」を実施して登録者の確保を図った。

4 環境衛生

(1) 生活衛生営業関係

旅館、興行場、公衆浴場、理・美容所及びクリーニング所の営業許可等事務及び監視を行い、営業施設の衛生管理徹底を指導した。特に、レジオネラ症防止対策として、旅館、公衆浴場の循環式浴槽及び循環式給湯設備等について、営業許可前の相談や、許可前調査時に、配管系統やろ過設備等の洗浄消毒方法をはじめ、浴槽水の水質検査の実施を指導することにより、レジオネラ症の発生防止を図った。

(2) 建築物衛生関係

建築物衛生法に基づき、特定建築物の届出や事業の登録申請等に伴う事務処理を行うとともに、登録施設の立入検査を行った。

さらに、住居を起因とする「いわゆるシックハウス」の相談においては、室内科学物質の測定を行い、居住者に対し快適な住まい方について助言をする。

(3) 住居衛生関係

住居の内外で発生する衛生害虫等の相談において、害虫の同定や駆除方法を指導したほか、必要に応じ専門業者を紹介した。

5 水道

管内の専用水道や小規模水道の設置者に対し、施設の維持管理等の指導を行い安全な飲料水の確保に努めた。

また、水道普及率が県平均を下回っている市町に対し、水道普及促進を図るため水道パネルの移動展示を行い、安全な水道水の啓発を実施した。

さらに、地下水汚染地区の井戸水使用者及び飲料井戸水使用者からの相談に対し安全で衛生的な飲料水を確保するため水道水への切り替えについて指導助言を行った。

1 食品衛生

(1) 食品営業申請・許可等の状況

ア 食品衛生法関係

(令和2年度)

業 種 別	前 年 度 末 施 設 数 ア	申 請 数				許 可 数		未 許 可 数		不 許 可 件 数	取 り 下 げ 件 数	廃 業 数 ウ	現 在 数 ア+イ-ウ	監 視 目 標 数 エ	監 視 件 数 オ	監 視 目 標 達 成 率 オ/エ%	指 導 票 交 付 件 数
		新 規		更 新		新 規	更 新	新 規	更 新								
		前 年 度 越	本 年 度 受 付 分	前 年 度 越	本 年 度 受 付 分												
飲食店営業	1,771	3	(50) 117		146	168	146	2			194	1,745	526	603	114.6		
菓子製造業	272		(13) 10		33	23	33				20	275	270	157	58.2		
乳処理業	2											2	2	2	100.0		
乳製品製造業	4				1		1					4	4	7	175.0		
集乳業	1				1		1					1	1	1	100.0		
魚介類販売業	310	1	20		27	21	27				18	313	79	109	138.0		
魚介類せり売業	1											1	1	3	300.0		
魚肉ねり製品製造業	4											4	4	2	50.0		
食品の冷凍又は冷蔵業	34				2		2					34	34	24	70.6		
かん詰又はびん詰食品製造業	5				1		1					5	5	3	60.0		
喫茶店営業	233		(13) 5		27	18	27				35	216	44	58	131.8		
あん類製造業	2											2	2	1	50.0		
アイスクリーム類製造業	46		(1) 4		11	5	11				5	46	43	36	83.7		
乳類販売業	399	1	(4) 17		41	22	41				27	394	80	117	146.3		
食肉処理業	14				1		1					15	14	17	121.4		
食肉販売業	294	2	(1) 25		31	28	31				17	305	71	126	177.5		
食肉製品製造業	4											4	4	1	25.0		
乳酸菌飲料製造業	1											1	1	1	100.0		
食用油脂製造業	3				1		1					3	2	4	200.0		
みそ製造業	21				2		2				1	20	22	8	36.4		
醤油製造業	2											2	2	2	100.0		
ソース類製造業	3				1		1					3	3	4	133.3		
酒類製造業	4		1		1	1	1					5	4	3	75.0		
豆腐製造業	13				1		1					13	14	6	42.9		
納豆製造業	6	1	1		2	2	2				1	7	5	7	140.0		
めん類製造業	17		2		2	2	2				1	18	17	14	82.4		
そうざい製造業	71		4		7	4	7				5	70	72	47	65.3		
添加物製造業	5				1		1					5	5	3	60.0		
清涼飲料水製造業	12				1		1				1	11	12	10	83.3		
氷雪販売業	3				1		1					3	1	1	100.0		
計	3,557	8	(82) 207		341	295	341	2			325	3,527	1,344	1,377	102.5		

() 内は外数で季節営業を示す。

注 指導票交付件数欄には、文書をもって命じたものについてのみ記載。

イ 食品衛生条例関係

(令和2年度)

営業の種類		申請数		許可件数	不許可件数	未許可件数	廃業件数	現在施設数 (R3.3.31現在)	監視件数
		前年度 繰越件数	本年度 受付件数						
行商	新規	0	0	0	0	0	0	0	0
	更新	0	0	0	0	0			
販売業	新規	1	50	51	0	0	40	341	147
	更新	0	31	31	0	0			
製造業	新規	0	2	2	0	0	3	110	75
	更新	0	8	8	0	0			
計	新規	1	52	53	0	0	43	451	222
	更新	0	39	39	0	0			

ウ 製菓衛生師及び調理師関係

(令和2年度)

種類	製菓衛生師	調理師	備考
免許申請	5	63	
免許証書換交付申請	0	30	
免許証再交付申請	1	38	

エ 許可を要しない施設に対する監視指導状況

I)

(令和2年度)

種類	施設数	監視指導件数
給食施設	学校	5
	病院・診療所	0
	事業所	1
	その他	0
計	99	6

II)

(令和2年度)

施設	施設数	監視指導件数
乳さく取業	0	0
食品製造業	581	64
野菜・果物販売業	9	6
食品販売業(上記以外)	43	7
添加物の販売業	1	0
器具容器包装, おもちの製造業又は販売業	2	0

(2) 相談等処理件数

不良食品等関係	腐敗変敗関係	1
	異物混入関係	9
	表示関係	7
	器具及び容器包装関係	0
	添加物関係	0
	その他	2
	小計	19
施設等関係	施設の衛生状態関係	2
	そ族, こん虫関係	2
	従業員の衛生関係	1
	小計	5
施設の排水等関係相談		2
その他の相談 (営業関係等)		280
合計		306

【相談等処理件数のうちの苦情件数内訳】

下痢・嘔吐等健康被害	9
昆虫混入	4
毛髪混入	0
異物混入 (昆虫・毛髪除く)	9
表示	1
味・においの異常	0
変質・腐敗	1
施設不衛生	5
調理・作業上の問題	0
従業員不衛生 (毛髪混入除く)	0
動物飼育による不衛生	2
その他	0
合計	31

(3) 食品衛生講習会

開催回数	受講者総数	主な対象者
5回	700人	食品衛生責任者, 食品営業従事者, 模擬店関係出店者 (陶炎祭) など

2 薬事衛生

(1) 医薬品等施設数

(令和2年度)

業種	区分	施設数	許可件数	
			新規	更新
薬局製剤製造業		4	1	0
薬局製剤製造販売業		4	1	0
薬局		78	3	8
卸売販売業		10	0	1
店舗販売業		34	0	2
再生医療等製品販売業		0	0	2
特例販売業	薬種商販売業	2	0	0
	第一段階	0	0	0
	農協	0	0	0
	駅構内	2	0	0
	歯科用	0	0	0
	第二段階	0	0	0
高度管理医療機器販売・賃貸業		71	3	7
管理医療機器販売業		559	15	
計		764	23	20

(2) 毒物劇物施設数

(令和2年度)

業種	区分	施設数	許可件数	
			新規	更新
製造輸入業		3	0	0
販売業		103	3	13
電気めっき事業		1	0	
毒劇物運送事業		2	0	
計		109	3	13

(3) 麻薬・大麻取扱者数及び免許件数

(令和2年度)

区分業種	取扱者数	免許申請件数
麻薬卸売業者	1	0
麻薬小売業者	71	22
麻薬研究者	1	0
麻薬施用者	349	158
麻薬管理者	22	4
大麻研究者	0	0
計	444	184

(4) 覚醒剤等取扱施設及び指定等件数 (令和2年度)

業種 \ 区分	取 扱 施 設	指定申請件数 (人)
覚 せ い 剤 原 料 研 究 者	0	0
覚 せ い 剤 原 料 取 扱 者	5	1
覚 せ い 剤 研 究 者	0	0
覚 せ い 剤 施 用 機 関	0	0
向精神薬試験研究施設設置者	1	0
計	6	1

(5) 不正「けし」及び大麻の抜去指導 (令和2年度)

	発見個所数	抜去本数	備 考
け し	52	9,680	すべて鑑賞用または自生
大 麻	0	0	

(6) 薬物乱用防止指導員等の活動状況 (令和2年度)

事 項	実施回数	実 施 場 所 等
街頭キャンペーン等活動	5	水戸市内(2), 野球場(3), ケーズデンキスタジアム(1)
薬物乱用防止教室 薬物乱用防止指導員	7	小・中・高等学校等(受講者637名)

3 献血・骨髄バンク

(1) 令和2年度市町別献血実績

採血者数 (単位:人)

区分	献血ルーム	水戸市	笠間市	小美玉市	茨城町	大洗町	城里町	合計
200ml	838	228	39	34	14	2	0	1,155
400ml	10,146	5,384	809	556	632	301	207	18,035
成分	17,089							17,089
合計	28,073	5,612	848	590	646	303	207	36,279

(2) 年度別献血実績

採血者数 (単位:人)

区分	平成29年度		平成30年度		令和31年度		令和2年度	
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
全県 (達成率)	96,324	94,584	97,773	97,124	100,168	100,502	101,722	105,476
	(98.2%)		(99.3%)		(100.3%)		(103.7%)	
管内 (達成率)	(設定せず)	31,540	(設定せず)	21,947	(設定せず)	35,241	(設定せず)	36,279
	(%)		(%)		(%)		(%)	

(3) 令和2年度献血併行型骨髄バンク登録会実績

回数	登録者数	場所
2回	15人	航空自衛隊百里基地 茨城県建設業組合水戸支部

4 環境衛生

(1) 環境衛生施設

(令和2年度)

業種		区分	施設数	新規	廃止
旅館	旅館・ホテル		106	2	6
	簡易宿所		29	11	8
	簡易宿所(季節)		0	6	6
	下宿		0	0	0
興行場	常設		8	0	0
	仮設		0	0	0
公衆浴場	普通		0	0	0
	その他		35	0	1
理容所	一般		269	5	7
美容所	一般		370	8	10
クリーニング所	一般		46	3	4
	取次店		45	0	3
	無店舗取次店		9	0	0
温泉	源泉		7	0	0
	利用施設		20	0	0
特定建築物	店舗		18	0	0
	事務所		10	0	0
	旅館		7	0	0
	その他		14	0	0
ビル管法登録業	清掃業		16	1	0
	空気環境測定業		5	0	0
	空気調和用ダクト清掃業		0	0	0
	飲料水水質検査業		4	0	0
	飲料水貯水槽清掃業		56	1	2
	排水管清掃業		8	0	0
	ねずみ昆虫等防除業		19	0	0
	環境衛生総合管理業		21	0	1
遊泳用プール		16	1	1	
計			1,138	38	49

※ ビル管法登録業廃止には、登録有効期間満了件数含む。

(2) 立入検査指導状況 (令和2年度)

業 種	許可確認前の検査指導延施設数
旅 館	13
興 行 場	0
公 衆 浴 場	0
理 容 所	5
美 容 所	8
ク リ ー ニ ン グ 所	3
建 築 物 衛 生 法 登 録 業	10
計	39

(3) 免許関係状況 (令和2年度)

種 別	免 許	書 換	再交付	学科試験合格証明
クリーニング師	12	3	7	0

(4) 住居衛生相談状況 (令和2年度)

相 談 区 分	相 談 件 数
衛生害虫に関する相談	4
シックハウスに関する相談	0
計	4

5 水道

(1) 水道普及状況

(令和3年4月1日現在)

区分 市町村名	総人口 (A)	上水道		簡易水道		専用水道		総給水人口 (B)	普及率 (%) B/A
		施設数	給水人口	施設数	給水人口	施設数	給水人口		
笠間市	73,338	1	64,184	0	0	1	0	64,184	87.5
小美玉市	48,308	2	45,431	0	0	2	0	45,431	94.0
茨城町	31,203	3	27,433	0	0	4	265	27,698	88.8
大洗町	15,657	1	14,889	0	0	0	0	14,889	95.1
城里町	18,806	1	18,649	0	0	0	0	18,649	99.2
計	187,312	8	170,586	0	0	7	265	170,851	91.2

*統計上の都合による。

(2) 水道立入検査指導状況

(令和3年3月31日現在)

水道種別	施設数	施設指導 延件数	指 導 内 容			
			一般事項	消毒・管理	施設整備 改 善	水源変更 給水停止
上 水 道	1	1		1		
簡 易 水 道						
専 用 水 道						
小 規 模 水 道	3	3	1	2		
飲 用 井 戸 水						
計	4	4	1	3		

監視指導課業務の概要

1 食品監視

毎年度策定される「茨城県食品衛生監視指導計画」に基づいて、主に大規模製造・加工・販売施設を監視した。

また、食中毒等の食品事故発生時には、管轄する保健所衛生課からの要請に基づいて、各種調査活動の支援を行った。

(1) 食品製造施設等

- ・ 食品事故発生リスクの高い製造業及び加工業を優先して監視指導を行った。
- ・ 多種多様大量の食品が取り扱われる大規模店舗を監視し、不良食品等の発見・排除に努めた。
- ・ 来年度のHACCP義務化に向けて小規模事業者に対し、監視指導時に「HACCPの考え方を取り入れた衛生管理のための手引書」を配布し、説明を行った。これにより、HACCPに関する知識の定着を図った。

(2) 食品の収去検査

- ・ 食品の細菌検査を実施したほか、食品衛生法で規格基準がある食品については成分規格検査を実施した。

(3) いばらきハサップ承認事業

- ・ 「いばらきハサップ」認証施設について重点監視を行い、マニュアル等の見直しが必要な施設には改訂を促した。

(4) 違反食品・食品苦情の対応

- ・ 違反食品については、原因施設への立入、事故原因の分析及び指導報告を迅速に実施した。
- ・ 食品苦情のうち、製造施設に問題があると思われる事例には、立入りし指導した。

(5) 観光地対策

- ・ 多くの人出が見込まれる観光地において、宿泊施設及び飲食店営業施設を対象とした監視指導を実施した。

2 薬事監視

医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律、毒物及び劇物取締法、麻薬及び向精神薬取締法等に基づいて、薬局、医薬品販売施設、毒物劇物販売施設、毒物劇物使用届出施設、麻薬等の取扱施設等について監視指導を実施した。

(1) 医薬品医療機器等法関係

- ・ 薬局及び医薬品販売業においては、医薬品の適正使用のため、薬剤師等の有資格者が対面して適切な情報を提供しなければならないことから、販売施設の資格者の勤務形態を重点的に監視した。

(2) 毒物劇物関係

- ・ 毒物劇物販売登録施設及び使用届出施設について監視指導を実施するとともに、盗難・紛失及び漏洩・流失等の事故防止について啓発を図った。

＜登録＞ ・ 毒物劇物製造（輸入）業
・ 毒物劇物販売業

＜届出＞（毒物劇物業務上取扱者）

- ・電気メッキ業
- ・金属熱処理業
- ・毒物劇物運搬業
- ・しろあり防除業

(3) 麻薬関係

- ・麻薬卸売業及び麻薬小売業の施設について監視指導を実施した。
- ・4月～7月は「不正大麻・けし撲滅運動」期間であることから、大麻・けし類の発見・抜去に努めた。

(4) 医薬品の収去検査

- ・県内流通医薬品の収去検査を実施し、品質・規格を確認した。

3 環境監視

旅館業法、公衆浴場法、クリーニング業法、興行場法、建築物衛生法、プール衛生指導要綱に基づいて、施設の立入検査を実施した。

(1) 旅館・公衆浴場・興行場・クリーニング所（取次店を除く）

- ・年間計画を策定し、計画的に監視指導を実施した。
- ・旅館・ホテル等については、観光シーズンの前に地域ごとの一斉監視を実施した。
- ・旅館及び公衆浴場に対しては、レジオネラ症防止対策として浴槽水の自主検査を徹底するよう指導した。
- ・クリーニング所については、指定洗濯物の適切な消毒の徹底について重点的に指導した。

(2) 特定建築物

- ・美術館、百貨店、旅館、興行場、集会場等で延べ床面積が3,000㎡以上の施設については、特定建築物の届出が必要であり、届出のあった施設について監視指導を実施した。

(3) 遊泳用プール

- ・遊泳シーズン前に施設の立入検査を実施し、衛生管理の徹底に努めた。

1 食品監視

(1) 食品衛生法関係施設監視指導状況
(令和2年4月～令和3年3月)

業種	施設数	監視件数
飲食店営業	1,771	202
菓子製造業	272	92
乳処 理 業	2	1
特別牛乳搾取処理業	0	0
乳製品製造業	4	4
集 乳 業	1	0
魚介類販売業	310	42
魚介類せり売業	1	3
魚肉ねり製品製造業	4	2
食品の冷凍又は冷蔵業	34	21
かん詰又はびん詰食品製造業	5	2
喫茶店営業	233	6
あん類製造業	2	1
アイスクリーム類製造業	46	17
乳類販売業	399	34
食肉処 理 業	14	16
食肉販売業	294	47
食肉製品製造業	4	1
乳酸菌飲料製造業	1	1
食用油脂製造業	3	3
マーガリン又はショートニング製造業	0	0
みそ製造業	21	6
醬油製造業	2	2
ソース類製造業	3	2
酒類製造業	4	0
豆腐製造業	13	4
納豆製造業	6	2
めん類製造業	17	8
そうざい製造業	71	32
添加物製造業	5	1
食品の放射線照射業	0	0
清涼飲料水製造業	12	8
氷雪製造業	0	0
氷雪販売業	3	0
計	3,557	560

(施設数は、令和2年3月31日現在の監視指導課監視対象施設。単位：件)

(2) 茨城県食品衛生条例関係施設等監視指導状況
(令和2年4月～令和3年3月)

業種名		施設数	監視件数
そうざい弁当類販売業		330	46
製造業等	漬物製造業	56	31
	魚介類加工業	48	24
	そうざい半製品等製造業	6	4
	液卵製造業	1	1
小計		111	60
計		441	106

(施設数は、令和2年3月31日現在の監視指導課監視対象施設。単位：件)

(3) 許可を要しない営業施設等の監視指導状況
(令和2年4月～令和3年3月)

区分		
給食施設	事業所	1
	事業所以外	5
その他(届出営業等)		57
合計		63

*その他：食品衛生法及び茨城県食品衛生条例関係施設並びに給食施設以外の食品取扱施設

(4) 食品等の収去検査実施状況(監視指導課収去分のみ計上)
(令和2年4月～令和3年3月)

食品名	検体数	不適
乳		
冷凍食品		
魚介類及びその加工品	2	
肉卵類及びその加工品	15	
乳製品		
アイスクリーム類・氷菓		
穀類及びその加工品		
野菜類・果物及びその加工品	6	
菓子類		
清涼飲料水		
酒精飲料		
缶詰・瓶詰食品		
その他の食品	11	
計	34	

(5) 違反食品（疑いを含む）等の処理状況

(令和2年4月～令和3年3月)

No	受付日	受理・発見	食品	違反・苦情内容	原因（推測を含む）
1	R2. 5. 14	大分市保健所	ピザ (冷凍食品)	異物混入 (プラスチック片)	原材料メーカーでの混入
2	R2. 6. 19	ひたちなか保健所	米飯 (給食)	異物混入 (ゴキブリ様虫体)	製造所での混入
3	R2. 7. 27	つくば保健所	鶏卵	卵殻内部へのカビ発生	原料卵保管環境不良
4	R2. 11. 25	ひたちなか保健所	塩数の子	複数の賞味期限貼付	期限再設定に係る情報提供不足
5	R2. 12. 2	中央保健所	わかさぎ甘露煮	表示なし	ラベル貼付の失念
6	R2. 12. 15	川崎市高津区役所地域みまもり支援センター	ししゃも (干物)	針金混入	原料ししゃも体内からの発生
7	R2. 12. 21	千葉市保健所	納豆	腐敗	不明
8	R2. 12. 23	竜ヶ崎保健所	鶏肉	金属片混入	不明

2 薬事監視

(1) 薬局・毒劇物・麻薬等の監視状況
(令和2年4月～令和3年3月)

業 種		対象施設数	監視施設数
薬 局		78	15
薬局製造業・薬局製剤販売業		4	1
店舗販売業		34	5
卸売販売業		10	3
薬種商販売業		2	0
特例販売業		2	0
配 置	業 者	0	0
	家 庭	0	0
高度管理医療機器販売業		71	12
高度管理医療機器貸与業		22	4
管理医療機器販売		559	15
管理医療機器貸与業		24	1
小 計		806	56
毒劇製造業		2	0
毒劇輸入業		1	0
毒販 劇売 業	一 般	60	14
	農 業	41	9
	特 定	2	0
業務上取扱 届出必要		3	1
業務上取扱 届出不要		0	0
特毒研究者		3	0
小 計		112	24
合 計		918	80
麻薬卸売業		1	1
麻薬小売業		71	11
覚醒剤原料		82	16
小 計		154	28
総 合 計		1,072	108

対象施設数：令和2年4月1日現在

(2) 薬局等の監視指導状況

(令和2年4月～令和3年3月)

指導内容	交付施設数
指 導 票	2
指 導 結 果 票	0

(3) 医薬品試験検査状況

(令和2年4月～令和3年3月)

検査項目	検体名	検体		
		検体	適合	不適
溶出試験 (日本薬局方医薬品)	グリメピリド錠 1mg 「サワイ」ほか	2	2	0
定量試験 (日本薬局方医薬品)	アトルバスタチン錠 10mg 「トーワ」	1	1	0
定量試験 (日本薬局方医薬品)	ランソプラゾールOD 錠 30mg 「トーワ」	1	1	0
定量試験 (薬局製剤)	あんず薬局大洗店 感冒剤13号A	1	1	0
計		5	5	0

3 環境監視

(1) 施設監視指導状況

(令和2年4月～令和3年3月)

業種	施設数	監視件数
ホテル・旅館	106	93
興行場	8	2
公衆浴場	35	27
クリーニング所	46	8
特定建築物	49	10
プール	16	5
合計	260	145

対象施設数：令和2年3月31日現在

健康増進課業務の概要

1 健康づくり

「すべての県民が健康で明るく元気に暮らせる社会の実現」を基本目標に、第3次健康いばらき21プランに基づき住民の健康づくりを推進するための事業を実施した。

(1) いばらきヘルスロード事業

県民の運動習慣の向上を目指して、身近なところで気軽に歩いて、新たな発見と健康増進にチャレンジできるヘルスロードの整備を促進し、県民の健康づくりの実践活動の支援を図った。

(2) たばこ対策

生活習慣病を予防するうえで、たばこ対策は重要な課題となっていることから、改正健康増進法に基づき第1種施設及び第2種施設への立ち入り調査を実施するとともに、あらゆる機会を通して、たばこの健康への影響や受動喫煙防止対策に関する普及啓発に努めた。

(3) がん予防・がん検診推進事業

がん対策をはじめとする生涯を通じた健康に関する県民の主体的な取り組みを奨励するため、がん予防・検診に係る動画を作成し、管内市町及び管内市町教育委員会等へ配布した。

(4) 地域・職域連携推進事業

地域保健と職域保健の連携を図り、それぞれの機関が有している健康情報、資源等を共有化することにより、効果的な保健事業を展開するため「水戸保健医療圏地域・職域連携推進協議会」を書面により開催した。

2 栄養改善指導・管理

健康増進法に基づき、県民の栄養改善を図るとともに、給食施設に対し栄養管理に関する指導を行うための事業を実施した。

(1) 栄養指導

適正な食生活の実践を推進するため、各種機会を捉え、個別及び集団を対象に栄養指導を行った。

(2) 特定給食施設等指導

管内給食施設の運営の適正化を図るため、施設の管理者及び給食担当者に対し動画配信による講習会を開催し、栄養管理の充実に努めた。また、日本人の食事摂取基準が改定されたことを踏まえ、保育所（園）における適切な栄養管理をするための手引き「保育所（園）における給食の給与栄養目標量設定の手引き」改定版冊子を作成し、対象施設宛て配布を行った。

(3) 食生活改善地区組織の育成指導

市町が行う食生活改善推進員の養成及び育成研修等の支援を行い、地区組織活動の推進を図った。

(4) 食品表示指導

食品製造、加工販売業者に対して、販売に供する食品の表示について、健康増進法及び食品表示法に基づき指導した。

(5) 管理栄養士学生実習

茨城キリスト教大学、常磐大学の管理栄養士養成課程学生を受け入れ、保健所の役割や公衆栄養活動の実際について習得させるための遠隔実習を行った。

(6) 栄養士、管理栄養士免許事務

栄養士法に基づき栄養士及び管理栄養士免許事務を行った。

(7) 国民健康・栄養調査

新型コロナウイルス感染予防の観点から中止となった。

3 食育

「茨城県食育推進計画－第3次－」に基づき、関係機関との連携により以下の事業を実施した。

(1) 食育支援ネットワーク事業

健康増進事業担当管理栄養士・栄養士会議等において、市町村における食育事業の充実に向けた支援を行った。

また、コロナ禍の食生活における注意点についてポスターを作成し、掲示およびホームページにより情報提供に努めた。

4 歯科口腔保健

「第3次健康いばらき21プラン」に基づき、8020・6424（ハチマルニイマル・ロクヨンニイオン：80歳で20本以上、64歳で24本以上の自分の歯を保つ）を目標に、県民の生涯を通じた歯と口腔の健康のための事業を実施した。

(1) 口腔保健支援センター事業

・出張障害者施設口腔ケア事業

定期的な歯科検診等を受けることが困難な者への歯科口腔保健の推進のため、障害者（児）への適切な口腔ケアの必要性について情報提供等を行った。

(2) 8020・6424 推進事業

・市町村歯科保健推進事業

市町村の歯科保健事業の充実を図るため、市町村母子、成人及び高齢者歯科保健担当職員を対象に担当者連絡会を動画配信および紙面での情報交換により開催した。

5 母子保健

生涯の健康づくりの出発点である母子保健について、母子保健法及び児童福祉法に基づき、ライフサイクルに合わせた健全な母と子の育成を目的とする事業を実施した。

(1) 総合母子保健・福祉相談指導事業

精神・運動発達面に問題を持つ児、長期療養児等に対し、保健・医療・福祉が一体となった家庭療育育成の支援を行うことにより、地域における療育指導体制の確立を図るとともに、地域における子どもの健康を支える環境づくりや子育て支援の体制を構築した。

ア 発達相談支援事業

新型コロナウイルス感染予防の観点から中止とした。

イ 総合母子保健・福祉ネットワーク事業

地域における療育相談指導体制の確立、連携体制の強化を図るための会議及び研修会を開催した。

ウ 二次スクリーニング機能強化事業（移動発達相談）

新型コロナウイルス感染予防の観点から中止とした。

(2) 先天性代謝異常等新生児の指導・支援事業

総合健診協会から通知のあった「先天性代謝等検査の要請密検査児」の保護者に対し、必要に応じ指導・支援を行った。

(3) 不妊治療費助成事業

不妊治療のうち体外受精及び顕微授精については1回の治療費が高額であり経済的負担が重いことから、その費用の一部を助成することにより、不妊に悩む夫婦の経済的負担の軽減を図った。

(4) 小児慢性特定疾病医療費支給事業

小児慢性疾病のうち特定疾病については、治療が長期にわたり医療費が高額となることから、「小児慢性特定疾病医療受給者証」を交付し、医療費の自己負担分の軽減を図った。

(5) 長期療養児療育相談支援事業

ア 患者・家族教室

新型コロナウイルス感染予防の観点から中止とした。

イ ピア相談会

新型コロナウイルス感染予防の観点から中止とした。

(6) 要支援妊産婦支援体制整備事業

要支援妊産婦の早期発見と保健指導等の支援体制の強化を図るため、産科医療機関や管内市町と連携会議やケース会議を開催し、連携体制の構築に努めた。

6 難病対策

難病は治療が長期にわたるため、患者及びその家族は経済的負担に加え、医療や生活面で様々な悩みを抱えている。

このため、指定難病特定医療費助成制度による患者の医療費負担の軽減や、電話・面接等による各種相談に応じた。

また、在宅において気管切開や人工呼吸器を装着している患者に対して、関係者と連携し、療養に必要な情報提供やレスパイト事業の活用支援に努めた。

さらに、専門医師による難病医療講演会や難病対策実務者向けの研修会、管内市町関係課や訪問看護ステーション等関係機関職員による「難病対策地域協議会」を書面により開催し、難病患者の療養生活の支援方策等について検討した。

7 アスベスト対策

「石綿による健康被害の救済に関する法律」に基づき、健康被害を受けた者及びその遺族に対して医療費等の支給をするための相談・申請受理をし、健康被害の迅速な救済を図った。

8 肝炎対策

B型・C型肝炎の予防対策として、不安や心配のある方の匿名・無料の血液検査及び相談を定例で週1回実施した。

また、肝炎治療費助成事業申請により、インターフェロンフリー治療、核酸アナログ製剤治療患者に対する医療費軽減を支援した。

1 健康づくり

(1) いばらきヘルスロード事業

ヘルスロード指定コース数（令和3年3月31日現在）

市町名	コース数	距離 (km)
笠間市	11	34.27
小美玉市	9	33.51
茨城町	10	27.02
大洗町	3	14.07
城里町	2	3.17
管内合計	35	112.04

(2) たばこ対策

令和2年度の実績は以下のとおり。

	戸別訪問	助言指導
第一種施設	40件	9件
第二種施設	84件	12件

(3) がん予防・がん検診推進事業

がん予防・検診講習会

実施日	場 所	内 容	対象及び人員
動画による配信を行うため、特定の日でない。	動画による配信を行うため、特定の場所以外。	～新たな啓発様式 de いのちを守る！～ ・統計や検診方法、原因等のがんに関する知っておくべき知識や専門医からのメッセージを主たる内容として、肺がん、乳がん、子宮頸がんの動画を作成した。	市町村事業に参加している管内市民等

(4) 水戸保健医療圏 地域・職域連携推進協議会

実施日	場 所	内 容	対象及び人員
令和3年 2月9日(火)	書面会議	協議事項 ・コロナ禍における特定健康診査・特定保健指導の実施状況等について	委員、管内市町 国保主管課長等 22名

2 栄養改善指導・管理

(1) 栄養指導状況

(人)

区 分	栄 養 指 導	その他指導 (運動・休養・禁煙等)	計
個別指導延人数	20	0	20
集団指導延人数	8	0	8

(2) 特定給食施設等指導状況

(件)

区 分	特 定 給 食 施 設		その他の 給食施設	計
	1回300食以上 又は1日700食以上	1回100食以上 又は1日250食以上		
個別指導	6	9	6	21
集団指導	4	124	107	275

(集団指導)

実施日	内 容	対象及び人員
令和2年5月 1日（郵送）	①「日本人の食事摂取基準2020」 の改定内容について 改定内容をまとめたリーフレットを 作成し、各施設へ郵送配布した。	全施設 138施設
令和2年10 月10日～11 月10日（配 信）	②給食施設研修会～非常災害編～ 非常災害時の備えについて、平常時に 確認・準備すべきことをまとめたスラ イド動画を作成し、You Tubeにて限定 公開（URL直接入力の場合のみ閲覧可 能）を行った。	個別の栄養管理が必要な施設または入 所型施設 66施設 給食の管理者、栄養管理者、調理従事 者、施設の防災担当者（設備担当、備 蓄担当）
令和2年10 月10日～11 月10日（配 信）	③給食施設研修会～手洗い編～ 手洗いのざんねんポイント（手洗いの 注意点）について動画を作成し、You Tubeにて限定公開（URL直接入力の場合 のみ閲覧可能）を行った。	全施設 139施設 すべての給食施設の関係者
令和2年10 月12日（郵 送）	④保育所（園）における給食の給与栄 養目標量設定の手引き 日本人の食事摂取基準2020に併せて 改定した手引き冊子を作成し、郵送配 布した。	児童福祉施設および施設区分学校のう ち幼稚園 40施設

(3) 食生活改善地区組織の育成指導

食生活改善推進員協議会活動等への支援・指導

〔指導日数〕12日 〔延べ指導人員〕917名

(4) 食品表示指導

指 導 内 容	件 数
食品表示法	19
健康増進法 31 条の 1 ・ 誇大表示の禁止について	1

(5) 管理栄養士学生実習

学 校 名	学生数	実 習 期 間
茨城キリスト教大学	5 名	令和2年10月19日、21日、23日、26日、28日
常磐大学	5 名	
計	10 名	

(6) 栄養士、管理栄養士免許事務

栄養士免許	件数	管理栄養士免許	件数
免許申請	77	免許申請	17
中央保健所受付分	13		
水戸市保健所受付分	17		
一括申請	47		
名簿訂正・書換え交付申請	27	名簿訂正・書換え交付申請	9
中央保健所受付分	18		
水戸市保健所受付分	9		
免許証再交付申請	6	免許証再交付申請	0
中央保健所受付分	3		
水戸市保健所受付分	3		
		免許等照合書発行	12(5名)

3 食育

(1) 食育支援ネットワーク事業

実施日	内 容	対象及び人員
令和2年6月、随時	保健所・県立健康プラザ来所者への食育の啓発（コロナ禍における新しい生活様式実践時の食生活の気を付けるべきポイント）	来所者
①令和2年9月1日 ※オンライン・来所併用 ②令和3年2月22日 ※オンライン会議	管内市町村栄養士会議 ①非常災害時の栄養支援について～台風19号の水害対応事例から ②コロナ下における市町村事業の実施状況 コロナ下における新たな栄養・食生活の課題について	中央保健所・ひたちなか保健所 管内市町村の行政管理栄養士・栄養士、水戸市保健所の管理栄養士 延41名

4 歯科口腔保健

(1) 口腔保健支援センター事業

出張障害者施設口腔ケア事業

子どものう蝕予防に関するリーフレットを作成し、管内の児童発達支援及び放課後等デイサービス提供事業所の計17施設に配布した。

(2) 8020・6424 推進事業
市町村歯科保健推進事業

実施日	場 所	内 容	対象及び人員
令和2年12月上旬～12月下旬	—	水戸保健所管内市町村歯科保健担当者連絡会 (動画配信および紙面での情報交換)	中央保健所管内各市町及び水戸市保健所の歯科保健担当者

5 母子保健

(1) 総合母子保健・福祉相談指導事業

ア 発達相談指導事業

実施回数 17回

新型コロナウイルス感染予防の観点から中止。

イ 総合母子保健・福祉ネットワーク事業

実施日	場 所	内 容	対象及び人員
令和2年 10月12日(月)	中央保健所	連絡会議 中央保健所管内母子保健担当者会議 ・コロナ禍における各母子保健事業の課題と対策 ・子育て世代包括支援センターの設置状況	中央保健所管内母子保健担当保健師等(水戸市保健所も含む) 8名 (オンライン参加 6名 来所参加 2名)

ウ 二次スクリーニング機能強化事業(移動発達相談)

新型コロナウイルス感染予防の観点から中止。

(2) 先天性代謝異常等検査事業検査結果

疾患名	区分	要精密件数	要治療件数
先天性甲状腺機能低下症		2	0

(3) 不妊治療費助成事業

申請者の 居住市町	笠間市	小美玉市	茨城町	大洗町	城里町	合 計
助成件数	63	44	23	8	9	147
(助成実組数)	(44)	(29)	(14)	(6)	(4)	(97)

(4) 小児慢性特定疾病医療費支給事業

医療受給者証交付人数

疾患群	悪性新生物	慢性腎疾患	慢性呼吸器疾患	慢性心疾患	内分泌疾患	膠原病	糖尿病	先天性代謝異常	血液疾患	免疫疾患	神経筋疾患	慢性消化器疾患	染色体又は遺伝子に 変化を伴う症候群	骨系統疾患	合計
	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	15	
市町															
笠間市	5	2	0	3	7	3	8	0	3	0	0	6	0	0	37
小美玉市	6	1	1	3	1	3	3	0	3	1	1	3	0	0	26
茨城町	6	1	0	0	4	0	3	0	4	0	0	1	0	0	19
大洗町	1	0	0	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	4
城里町	2	0	0	1	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	7
合計	20	4	1	7	15	7	16	1	10	1	1	10	0	0	93

※ 新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、「小児慢性特定疾病医療受給者証」の有効期間の終了日が令和2年3月1日から令和3年2月28日までの受給者については、有効期間が1年間延長された。

(5) 長期療養児療育相談支援事業

新型コロナウイルス感染予防の観点から中止。

(6) 要支援妊産婦支援体制整備事業

実施日	場 所	内 容	対象及び人員
令和2年 10月21日(水)	県立中央病院	事例検討会議 6事例	医師、助産師、市町村母子保健担当保健師等 13名
同年 12月15日(火)	水戸メンタルクリニック	事例検討会議 11事例	医師、助産師、市町村母子保健担当保健師等 17名

<参 考>

地域組織

組 織 名	会員数
城 里 町 母 子 愛 育 会	55

6 難病対策

(1) 指定難病特定医療受給者証交付状況(市町村別)

(令和3年3月31日現在)

	疾患名	水戸市	笠間市	小美玉市	茨城町	大洗町	城里町	計
1	球脊髄性筋萎縮症	11	4	0	1	1	0	17
2	筋萎縮性側索硬化症	28	7	5	2	0	0	42
3	脊髄性筋萎縮症	1	1	0	1	0	0	3
4	原発性側索硬化症	0	0	0	0	0	0	0
5	進行性核上性麻痺	19	4	1	0	0	0	24
6	パーキンソン病	255	54	45	37	14	19	424
7	大脳皮質基底核変性症	12	1	0	0	0	0	13
8	ハンチントン病	1	1	0	0	0	0	2
9	神経有棘赤血球症	0	0	0	0	0	0	0
10	シャルコー・マリー・トゥース病	0	1	0	0	0	0	1
11	重症筋無力症	62	17	10	5	2	4	100
12	先天性筋無力症候群	0	0	0	0	0	0	0
13	多発性硬化症／視神経脊髄炎	41	13	4	7	3	5	73
14	慢性炎症性脱髄性多発神経炎／多発性運動ニューロパチー	16	4	4	1	1	2	28
15	封入体筋炎	2	0	0	0	0	0	2
16	クロウ・深瀬症候群	0	0	0	0	0	0	0
17	多系統萎縮症	29	7	0	7	1	4	48
18	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く)	56	17	12	2	7	6	100
19	ライソゾーム病	1	0	0	0	0	0	1
20	副腎白質ジストロフィー	1	0	0	0	0	0	1
21	ミトコンドリア病	7	0	0	1	0	1	9
22	もやもや病	18	11	8	1	1	1	40
23	プリオン病	2	0	0	0	0	0	2
24	亜急性硬化性全脳炎	0	0	0	0	0	0	0
25	進行性多巣性白質脳症	0	0	0	0	0	0	0
26	HTLV-1関連脊髄症	0	0	0	0	0	0	0
27	特発性基底核石灰化症	0	0	0	0	0	0	0
28	全身性アミロイドーシス	5	2	0	0	0	0	7
29	ウルリッヒ病	0	0	0	0	0	0	0
30	遠位型ミオパチー	0	0	0	0	0	0	0
31	ベスレムミオパチー	0	0	0	0	0	0	0
32	自己食空砲性ミオパチー	0	0	0	0	0	0	0
33	シュワルツ・ヤンペル症候群	0	0	0	0	0	0	0
34	神経線維腫症	10	0	1	1	0	1	13
35	天疱瘡	2	1	1	0	0	1	5
36	表皮水疱症	1	0	0	0	0	0	1
37	膿疱性乾癬(汎発型)	4	1	2	2	1	0	10
38	ステイヴンス・ジョンソン症候群	0	0	0	1	0	0	1
39	中毒性表皮壊死症	0	0	0	0	0	0	0
40	高安動脈炎	15	2	3	2	0	1	23
41	巨細胞性動脈炎	0	0	0	0	0	1	1
42	結節性多発動脈炎	2	0	2	1	0	0	5
43	顕微鏡的多発血管炎	20	10	5	6	3	3	47
44	多発血管炎性肉芽腫症	4	1	1	1	0	0	7
45	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	8	2	1	0	0	0	11
46	悪性関節リウマチ	2	2	2	2	0	0	8
47	バージャー病	3	1	0	2	0	0	6
48	原発性抗リン脂質抗体症候群	0	0	0	1	0	0	1
49	全身性エリテマトーデス	144	42	26	15	6	11	244
50	皮膚筋炎／多発性筋炎	40	19	6	5	1	1	72
51	全身性強皮症	35	5	5	6	5	2	58
52	混合性結合組織病	14	4	4	2	0	1	25
53	シェーグレン症候群	13	8	2	2	0	2	27
54	成人スチル病	6	3	2	1	1	1	14
55	再発性多発軟骨炎	2	1	0	0	0	0	3
56	ベーチェット病	28	9	7	5	3	2	54
57	特発性拡張型心筋症	27	9	0	3	3	1	43
58	肥大型心筋症	3	4	3	0	0	0	10

	疾患名	水戸市	笠間市	小美玉市	茨城町	大洗町	城里町	計
59	拘束型心筋症	0	0	0	0	0	0	0
60	再生不良性貧血	14	8	4	2	0	1	29
61	自己免疫性溶血性貧血	1	0	0	1	0	0	2
62	発作性夜間ヘモグロビン尿症	0	0	1	0	0	0	1
63	特発性血小板減少性紫斑病	29	9	4	0	1	3	46
64	血栓性血小板減少性紫斑病	1	1	0	0	1	0	3
65	原発性免疫不全症候群	2	1	0	0	0	0	3
66	IgA腎症	20	12	3	3	2	2	42
67	多発性嚢胞腎	14	3	1	5	1	2	26
68	黄色靭帯骨化症	3	5	2	0	1	2	13
69	後縦靭帯骨化症	65	23	14	7	8	10	127
70	広範脊柱管狭窄症	6	0	0	0	0	0	6
71	特発性大腿骨頭壊死症	35	7	8	3	1	2	56
72	下垂体性ADH分泌異常症	5	3	0	0	0	1	9
73	下垂体性TSH分泌亢進症	0	0	0	0	0	0	0
74	下垂体性PRL分泌亢進症	2	0	0	0	0	0	2
75	クッシング病	0	0	0	0	0	0	0
76	下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	0	0	0	0	0	0	0
77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	15	0	1	0	0	1	17
78	下垂体前葉機能低下症	32	7	4	2	2	1	48
79	家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	0	0	0	0	0	0	0
80	甲状腺ホルモン不応症	0	0	0	0	0	0	0
81	先天性副腎皮質酵素欠損症	0	1	0	0	0	0	1
82	先天性副腎低形成症	0	0	0	0	0	0	0
83	アジソン病	1	0	0	0	0	0	1
84	サルコイドーシス	20	11	7	5	4	4	51
85	特発性間質性肺炎	18	5	9	6	3	0	41
86	肺動脈性肺高血圧症	8	1	3	2	1	0	15
87	肺静脈閉塞症/肺毛細血管腫症	0	0	0	0	0	0	0
88	慢性血栓性肺高血圧症	7	2	1	1	0	0	11
89	リンパ脈管筋腫症	1	0	0	0	0	1	2
90	網膜色素変性症	46	14	17	1	2	1	81
91	バッド・キアリ症候群	0	0	0	0	0	0	0
92	特発性門脈圧亢進症	0	0	1	1	0	0	2
93	原発性胆汁性肝硬変	36	10	2	8	1	4	61
94	原発性硬化性胆管炎	1	1	0	0	0	0	2
95	自己免疫性肝炎	10	1	1	3	1	3	19
96	クローン病	103	28	11	14	3	4	163
97	潰瘍性大腸炎	282	67	41	34	14	28	466
98	好酸球性消化管疾患	1	0	0	0	0	1	2
99	慢性特発性偽性腸閉塞症	0	0	0	0	0	0	0
100	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	0	0	0	0	0	0	0
101	腸管神経節細胞僅少症	0	0	0	0	0	0	0
102	ルビシユタイン・テイビ症候群	0	0	0	0	0	0	0
103	CFC症候群	0	0	0	0	0	0	0
104	コステロ症候群	0	0	0	0	0	0	0
105	チャージ症候群	0	0	1	0	0	0	1
106	クリオピリン関連周期熱症候群	0	0	0	0	0	0	0
107	全身型若年性特発性関節炎	3	0	0	0	0	0	3
108	TNF受容体関連周期性症候群	0	0	0	0	0	0	0
109	非典型型溶血性尿毒症症候群	0	0	0	0	0	0	0
110	ブラウ症候群	0	0	0	0	1	0	1
111	先天性ミオパチー	0	1	0	1	0	0	2
112	マリネスコ・シェーグレン症候群	0	0	0	0	0	0	0
113	筋ジストロフィー	4	5	1	0	1	0	11
114	非ジストロフィー性ミオトニー症候群	0	0	0	0	0	0	0
115	遺伝性周期性四肢麻痺	0	0	0	0	0	0	0
116	アトピー性脊髄炎	0	0	0	0	0	0	0
117	脊髄空洞症	0	1	1	0	0	0	2
118	脊髄髄膜瘤	0	0	0	0	0	0	0
119	アイザックス症候群	0	0	0	0	0	0	0
120	遺伝性ジストニア	0	0	0	0	0	0	0
121	神経フェリチン症	0	0	0	0	0	0	0

	疾患名	水戸市	笠間市	小美玉市	茨城町	大洗町	城里町	計
122	脳表へモジゲリン沈着症	0	1	0	0	0	0	1
123	禿頭と変形性脊椎症を伴う常染色体劣性白質脳症	0	0	0	0	0	0	0
124	皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症	0	0	0	0	0	0	0
125	神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性白質脳症	0	0	0	0	0	0	0
126	ベリー症候群	0	0	0	0	0	0	0
127	前頭側頭葉変性症	1	0	0	0	0	0	1
128	ピッカースタッフ脳幹脳炎	2	0	0	0	0	0	2
129	痙攣重積型(二相性)急性脳症	0	1	0	0	0	0	1
130	先天性無痛無汗症	0	0	0	0	0	0	0
131	アレキサンダー病	0	0	0	0	0	0	0
132	先天性核上性球麻痺	0	0	0	0	0	0	0
133	メビウス症候群	0	0	0	0	0	0	0
134	中隔視神経形成異常症/ドモルシア症候群	0	0	0	0	0	0	0
135	アイカルディ症候群	0	0	0	0	0	0	0
136	片側巨脳症	0	0	0	0	0	0	0
137	限局性皮質異形成	0	0	0	0	0	0	0
138	神経細胞移動異常症	0	0	0	0	0	0	0
139	先天性大脳白質形成不全症	0	0	0	0	0	0	0
140	ドラベ症候群	0	0	0	0	0	0	0
141	海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん	0	0	0	0	0	0	0
142	ミオクロニー欠神てんかん	0	0	0	0	0	0	0
143	ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん	1	0	0	0	0	0	1
144	レノックス・ガストー症候群	0	0	0	0	0	0	0
145	ウェスト症候群	1	0	0	0	0	0	1
146	大田原症候群	0	0	0	0	1	0	1
147	早期ミオクロニー脳症	0	0	0	0	0	0	0
148	遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん	0	0	0	0	0	0	0
149	片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群	0	0	0	0	0	0	0
150	環状20番染色体症候群	0	0	0	0	0	0	0
151	ラスマッセン脳炎	0	0	0	0	0	0	0
152	PCDH19関連症候群	0	0	0	0	0	0	0
153	難治頻回部分発作重積型急性脳炎	1	1	0	0	0	0	2
154	徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳症	0	1	0	0	0	0	1
155	ランドウ・クレフナー症候群	0	0	0	0	0	0	0
156	レット症候群	0	0	0	0	0	0	0
157	スタージ・ウェーバー症候群	0	0	0	0	0	0	0
158	結節性硬化症	2	0	2	0	0	0	4
159	色素性乾皮症	0	0	0	0	0	0	0
160	先天性魚鱗癬	0	0	0	0	0	0	0
161	家族性良性慢性天疱瘡	0	0	0	0	0	0	0
162	類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)	3	0	0	0	0	0	3
163	特発性後天性全身性無汗症	3	0	0	0	0	0	3
164	眼皮膚白皮症	1	0	0	0	0	0	1
165	肥厚性皮膚骨膜症	0	0	0	0	0	0	0
166	弾性線維性仮性黄色腫	0	0	0	0	0	0	0
167	マルファン症候群	3	0	0	0	0	0	3
168	エーラス・ダンロス症候群	0	1	0	0	0	0	1
169	メンケス病	0	0	0	0	0	0	0
170	オクシタル・ホーン症候群	0	0	0	0	0	0	0
171	ウィルソン病	0	0	0	0	0	0	0
172	低ホスファターゼ症	0	0	0	0	0	0	0
173	VATER症候群	0	0	0	0	0	0	0
174	那須・ハコラ病	0	0	0	0	0	0	0
175	ウィーバー症候群	0	0	0	0	0	0	0
176	コフィン・ローリー症候群	0	0	0	0	0	0	0
177	有馬症候群	0	0	0	0	0	0	0
178	モワット・ウィルソン症候群	0	0	0	0	0	0	0
179	ウィリアムズ症候群	0	0	0	0	0	0	0
180	ATR-X症候群	0	0	0	0	0	0	0
181	クルーゾン症候群	0	0	0	0	0	0	0
182	アペール症候群	0	0	0	0	0	0	0
183	ファイファー症候群	0	0	0	0	0	0	0
184	アントレー・ビクスラー症候群	0	0	0	0	0	0	0
185	コフィン・シリス症候群	0	0	0	0	0	0	0

	疾患名	水戸市	笠間市	小美玉市	茨城町	大洗町	城里町	計
186	ロスモンド・トムソン症候群	0	0	0	0	0	0	0
187	歌舞伎症候群	0	0	0	0	0	0	0
188	多脾症候群	0	0	0	0	0	0	0
189	無脾症候群	0	0	0	0	0	0	0
190	鰓耳腎症候群	0	0	0	0	0	0	0
191	ウェルナー症候群	1	0	0	0	0	0	1
192	コケイン症候群	0	0	0	0	0	0	0
193	ブラダー・ウィリ症候群	0	0	0	0	0	0	0
194	ソトス症候群	0	0	0	0	0	0	0
195	ヌーナン症候群	0	0	0	0	0	0	0
196	ヤング・シンプソン症候群	0	0	0	0	0	0	0
197	1p36欠失症候群	0	1	0	0	0	0	1
198	4p欠失症候群	0	0	0	0	0	0	0
199	5p欠失症候群	0	0	0	0	0	0	0
200	第14番染色体父親性ダイソミー症候群	0	1	0	0	0	0	1
201	アンジェルマン症候群	0	1	0	0	0	0	1
202	スミス・マギニス症候群	0	0	0	0	0	0	0
203	22q11.2欠失症候群	0	0	0	0	0	0	0
204	エマヌエル症候群	0	0	0	0	0	0	0
205	脆弱X症候群関連疾患	0	0	0	0	0	0	0
206	脆弱X症候群	0	0	0	0	0	0	0
207	総動脈幹遺残症	0	0	0	0	0	0	0
208	修正大血管転位症	2	1	0	0	0	0	3
209	完全大血管転位症	0	2	0	1	0	0	3
210	単心室症	1	1	0	0	0	0	2
211	左心低形成症候群	0	0	0	0	0	0	0
212	三尖弁閉鎖症	0	0	0	0	0	0	0
213	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	0	0	0	0	0	0	0
214	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	0	0	0	0	0	0	0
215	ファロー四徴症	4	0	0	0	0	0	4
216	両大血管右室起始症	0	0	0	0	0	0	0
217	エプスタイン病	0	0	0	0	0	0	0
218	アルポート症候群	0	1	0	0	0	0	1
219	ギャロウェイ・モフト症候群	0	0	0	0	0	0	0
220	急速進行性糸球体腎炎	2	1	0	0	0	0	3
221	抗糸球体基底膜腎炎	1	0	0	0	1	0	2
222	一次性ネフローゼ症候群	32	11	7	3	0	3	56
223	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	0	2	0	0	0	0	2
224	紫斑病性腎炎	1	0	0	1	0	0	2
225	先天性腎性尿崩症	0	0	0	0	0	0	0
226	間質性膀胱炎(ハンナ型)	0	0	0	0	0	0	0
227	オスラー病	1	0	0	0	0	0	1
228	閉塞性細気管支炎	0	0	0	0	0	0	0
229	肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性)	0	0	0	0	0	0	0
230	肺胞低換気症候群	0	0	0	0	0	0	0
231	α1-アンチトリプシン欠乏症	0	0	0	0	0	0	0
232	カーニー複合	0	0	0	0	0	0	0
233	ウォルフラム症候群	0	0	0	0	0	0	0
234	パルオキシソーム病(副腎白質ジストロフィーを除く。)	0	0	0	0	0	0	0
235	副甲状腺機能低下症	0	1	2	0	0	0	3
236	偽性副甲状腺機能低下症	0	0	1	0	0	0	1
237	副腎皮質刺激ホルモン不応症	0	0	0	0	0	0	0
238	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	0	0	0	1	0	0	1
239	ビタミンD依存性くる病/骨軟化症	0	0	0	0	0	0	0
240	フェニルケトン尿症	0	0	0	0	0	0	0
241	高チロシン血症1型	0	0	0	0	0	0	0
242	高チロシン血症2型	0	0	0	0	0	0	0
243	高チロシン血症3型	0	0	0	0	0	0	0
244	メープルシロップ尿症	0	0	0	0	0	0	0
245	プロピオン酸血症	0	0	0	0	0	0	0
246	メチルマロン酸血症	0	0	0	0	0	0	0
247	イソ吉草酸血症	0	0	0	0	0	0	0
248	グルコーストランスポーター1欠損症	0	0	0	0	0	0	0
249	グルタル酸血症1型	0	0	0	0	0	0	0
250	グルタル酸血症2型	0	0	0	0	0	0	0

	疾患名	水戸市	笠間市	小美玉市	茨城町	大洗町	城里町	計
251	尿素サイクル異常症	0	0	0	0	0	0	0
252	リジン尿性蛋白不耐症	0	0	0	0	0	0	0
253	先天性葉酸吸収不全	0	0	0	0	0	0	0
254	ボルフィリン症	0	0	0	0	0	0	0
255	複合カルボキシラーゼ欠損症	0	0	0	0	0	0	0
256	筋型糖原病	0	0	0	0	0	0	0
257	肝型糖原病	1	0	0	0	0	0	1
258	ガラクトース-1-リン酸ウリジルトランスフェラーゼ欠損症	0	0	0	0	0	0	0
259	レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症	0	0	0	0	0	0	0
260	シトステロール血症	0	0	0	0	0	0	0
261	タンジール病	0	0	0	0	0	0	0
262	原発性高カイロミクロン血症	0	0	0	0	0	0	0
263	脳髄黄色腫症	0	0	0	0	0	0	0
264	無βリポタンパク血症	0	0	0	0	0	0	0
265	脂肪萎縮症	0	0	0	0	0	0	0
266	家族性地中海熱	1	2	0	0	0	0	3
267	高IgD症候群	0	0	0	0	0	0	0
268	中條・西村症候群	0	0	0	0	0	0	0
269	化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候群	0	0	0	0	0	0	0
270	慢性再発性多発性骨髄炎	0	0	0	0	0	0	0
271	強直性脊椎炎	6	0	2	0	0	0	8
272	進行性骨化性線維異形成症	0	0	0	0	0	0	0
273	肋骨異常を伴う先天性側弯症	0	0	0	0	0	0	0
274	骨形成不全症	0	0	0	0	0	0	0
275	タナトフォリック骨異形成症	1	0	0	0	0	0	1
276	軟骨無形成症	0	0	0	0	0	0	0
277	リンパ管腫症/ゴーハム病	1	0	0	0	0	0	1
278	巨大リンパ管奇形(頸部顔面病変)	0	0	0	0	0	0	0
279	巨大静脈奇形(頸部口腔咽頭びまん性病変)	0	0	0	0	0	0	0
280	巨大動静脈奇形(頸部顔面又は四肢病変)	0	0	0	0	0	0	0
281	クリッペル・トレンネー・ウェーバー症候群	0	1	0	0	0	0	1
282	先天性赤血球形成異常性貧血	0	0	0	0	0	0	0
283	後天性赤芽球癆	5	0	0	0	1	0	6
284	ダイヤモンド・ブラックファン貧血	0	0	0	0	0	0	0
285	ファンconi貧血	0	0	0	0	0	0	0
286	遺伝性鉄芽球性貧血	0	0	0	0	0	0	0
287	エプスタイン症候群	0	0	0	0	0	0	0
288	自己免疫性出血病XIII	0	0	0	0	0	0	0
289	クロンカイト・カナダ症候群	1	1	0	0	0	0	2
290	非特異性多発性小腸潰瘍症	0	0	0	0	0	0	0
291	ヒルシュスプルング病(全結腸型又は小腸型)	0	0	0	0	0	0	0
292	総排泄腔外反症	0	0	0	0	0	0	0
293	総排泄腔遺残	0	0	0	0	0	0	0
294	先天性横隔膜ヘルニア	0	0	0	0	0	0	0
295	乳幼児肝巨大血管腫	0	0	0	0	0	0	0
296	胆道閉鎖症	2	3	0	0	0	0	5
297	アラジール症候群	0	0	0	0	0	0	0
298	遺伝性膵炎	0	0	0	0	0	0	0
299	嚢胞性線維症	0	0	0	0	0	0	0
300	IgG4関連疾患	5	1	0	1	1	0	8
301	黄斑ジストロフィー	1	0	0	0	0	0	1
302	レーベル遺伝性視神経症	1	0	0	0	0	0	1
303	アッシュャー症候群	0	0	0	0	0	0	0
304	若年発症型両側性感音難聴	0	0	0	0	0	0	0
305	遅発性内リンパ水腫	0	0	0	0	0	0	0
306	好酸球性副鼻腔炎	16	8	12	1	1	1	39
307	カナバン病	0	0	0	0	0	0	0
308	進行性白質脳症	0	0	0	0	0	0	0
309	進行性ミオクローヌスてんかん	0	0	0	0	0	0	0
310	先天異常症候群	0	0	0	0	0	0	0

	疾患名	水戸市	笠間市	小美玉市	茨城町	大洗町	城里町	計
311	先天性三尖弁狭窄症	0	0	0	0	0	0	0
312	先天性僧帽弁狭窄症	0	0	0	0	0	0	0
313	先天性肺静脈狭窄症	0	0	0	0	0	0	0
314	左肺動脈右肺動脈起始症	0	0	0	0	0	0	0
315	爪膝蓋骨症候群(ネイルパテラ症候群)/LMX1B関連腎症	0	0	0	0	0	0	0
316	カルニチン回路異常症	0	0	0	0	0	0	0
317	三頭酵素欠損症	0	0	0	0	0	0	0
318	シトリン欠損症	0	0	0	0	0	0	0
319	セピアプテリン還元酵素(SR)欠損症	0	0	0	0	0	0	0
320	先天性グリコシルホスファチジルイノシトール(GPI)欠損症	0	0	0	0	0	0	0
321	非ケトーシス型高グリシン血症	0	0	0	0	0	0	0
322	β -ケトチオラーゼ欠損症	0	0	0	0	0	0	0
323	芳香族L-アミノ酸脱炭酸酵素欠損症	0	0	0	0	0	0	0
324	メチルグルタコン酸尿症	0	0	0	0	0	0	0
325	遺伝性自己炎症疾患	0	0	0	0	0	0	0
326	大理石骨病	0	0	0	0	0	0	0
327	特発性血栓症(遺伝性血栓性素因による)	0	0	0	0	0	0	0
328	前眼部形成異常	0	0	0	0	0	0	0
329	無虹彩症	0	0	0	0	0	0	0
330	先天性気管狭窄症	0	0	0	0	0	0	0
331	特発性多中心性キャッスルマン病	2	1	1	0	0	0	4
332	膠様滴状角膜ジストロフィー	0	0	0	0	0	0	0
333	ハッチンソン・ギルフォード症候群	0	0	0	0	0	0	0
	合計	1,839	540	327	230	106	145	3,187

※ 新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、「指定難病特定医療受給者証」の

ア 指定難病特定医療費受給者証の登録内容変更届	847 件
イ 消滅届	118 件
ウ 医療機関との委託契約	0 件

(2) 先天性血液凝固因子障害等医療受給者証交付状況(市町別) (R3.3.31現在)

区 分	水戸市	笠間市	小美玉市	茨城町	大洗町	城里町	計
交付者数	8	1	2	0	2	2	15

ア 先天性血液凝固因子障害等医療受給者証の登録内容変更届	4 件
イ 医療機関との委託契約	0 件

(3) 在宅人工呼吸器使用特定疾患患者訪問看護治療研究事業参加者

区 分	笠間市	小美玉市	茨城町	大洗町	城里町	計
交付者数	0	0	0	0	0	0

※R2. 4. 1から水戸市分については、水戸市保健所へ移管

(4) 難病患者地域支援対策推進事業

ア 難病医療講演会の実施

期 日	場 所	対 象	内 容／講 師
令和3年1月29日～ 2月26日	動画配信サイト	管内の再生不良性貧血と突 発性血小板減少性紫斑病の 指定難病受給者 30名	・タイトル 「Cちゃんと学ぼう！再生不良性貧血と突発性血小板減少 性紫斑病の患者さん、必見！！コロナ禍で気を付けたい3 か条」 講師 茨城県中央病院 血液内科 藤尾高行 氏

*ひたちなか保健所、難病相談支援センターと共催

イ 窓口相談

区 分	面 接 相 談 延 人 員						電 話 相 談 延 人 員
	申 請 等 の 相 談	医 療	看 護・日 常 生 活	福 祉 制 度	そ の 他	計	
人 員	3187	0	8	1	1	3197	2140

ウ 訪問相談指導

疾 患 名	実	延
筋萎縮性側索硬化症	1	1
脊髄小脳変性症	0	0
多系統萎縮症	0	0
大脳基底核変性症	0	0
筋ジストロフィー	0	0
進行性核上性麻痺	0	0
合 計	1	1

エ 地域支援体制の推進に係る事業難病患者支援検討会議

難病対策地域協議会(関係者向け研修も兼ねて実施)

期 日	場 所	参加者	内 容
令和3年2月16日 (火)	書面による開催	医療従事者 20名	内容 ・長期療養を必要な難病患者・家族への精神的な支援 ・人工呼吸器装着以外の難病患者の支援の在り方

オ 在宅難病患者一時入院事業(レスパイト事業)

*対象者：在宅で療養する茨城県特定疾患治療研究事業の受給者のうち重症認定を受け、当該疾患を主たる要因として人工呼吸器を使用している方、又は気管切開をしている方

・利用者数(実/延)：0/0人

・疾患別利用者内訳

疾 患 名	利用者数
筋萎縮性側索硬化症	0
多系統萎縮症	0
脊髄小脳変性症	0
大脳皮質基底核変性症	0
進行性核上性麻痺	0
計	0

(3)利用医療機関

医 療 機 関 名	利用回数
県立中央病院	0
水戸赤十字病院	0
水戸医療センター	0
志村病院	0
計	0

7 アスベスト対策

(1) アスベストに関する相談

健康	医療機関	健康被害救済制度	その他
1	0	0	2

(延べ人員)

(2) 健康被害救済制度の申請受理

認定申請書	療養手当請求書	医療費請求書	特別遺族弔慰金・特別葬祭料請求書
0	0	0	0

(延べ人員)

* (1),(2)とも令和3年3月31日現在の数字

8 肝炎対策

(1) 肝炎検査

ア B型肝炎検査件数 (令和2年度)

検査実施数
64

イ C型肝炎検査件数 (令和2年度)

検査実施数
62

(2) 肝炎治療費助成

受給者証交付申請状況 (市町別)

(令和3年3月31日現在)

区分 市町	慢性肝炎(B型 肝炎ウイルス による)	非代償性、代償性 肝硬変(B型肝炎 ウイルスによる)	慢性肝炎(C 型肝炎ウイル スによる)	非代償性、代償性 肝硬変(C型肝炎 ウイルスによる)	計
水戸市	31	8	24	7	70
笠間市	8	1	12	3	24
小美玉市	4	0	9	3	16
茨城町	6	2	4	1	13
大洗町	1	0	4	1	6
城里町	4	0	2	0	6
計	54	11	55	15	135

※ 新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、「肝炎治療受給者証」の有効期間の終了日が令和2年3月1日から令和3年2月28日までの受給者者については、有効期間が1年間延長された。

(3) フォローアップ事業

初回精密検査費用助成件数

(令和2年度)

対象者(人)	肝炎ウイルス検査実施者	検査結果
0	—	0

保健指導課業務の概要

1 感染症予防対策

感染症予防対策として、研修会その他による正しい知識の普及啓発、感染症発生動向調査、社会福祉施設等巡回指導、県民からの相談等に対応した。

感染症発生時には、迅速に積極的疫学調査を実施するとともに、適切な消毒方法を含む保健指導や必要とされる行政検査等を実施し、感染拡大防止を図った。令和 2 年度には新型コロナウイルス感染症の発生が多数あったことから、所内体制及び関係機関との連携を強化し対応した。また、住民からの相談や患者の入院や施設・自宅療養に対応した。当所敷地内においてドライブスルー方式の PCR 検査検体採取事業を実施した。

令和 3 年 2 月に管内養鶏場において高病原性鳥インフルエンザの発生があり、当該養鶏場の従業員等の健康調査等を行った。

2 エイズ等性感染症予防対策

エイズに関する正しい知識の普及と偏見の解消を図るため、啓発事業を実施した。また、専用電話等や面接による相談を受けるほか、不安や心配のある方の匿名・無料の血液検査を定例で週 1 回実施するとともに保健指導を実施した。

3 結核対策

結核患者の発生時においては、速やかな初回面接、接触者調査に努め、患者の療養指導、接触者健康診断の実施により、感染者の早期発見とまん延防止に努めた。

感染症診査協議会結核部会を月 1 回開催し、医療費公費負担申請に関する事項を診査し医療の適正化を図った。

患者の服薬支援として地域 DOTS の推進に努め、入・通院医療機関をはじめ介護施設・事業所・薬局・市町等の関係機関に服薬確認の協力を得ながら、治療の完遂を支援した。治療修了者には定期的に管理検診を実施し経過の把握に努めた。

4 原子爆弾被爆者対策

原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律に基づき、被爆者健康診断及び二世健康診断を委託医療機関で実施するとともに、健康管理手当等の各種手当の申請受付事務を行った。

5 予防接種対策

予防接種の実施主体は市町であるが、当所に予防接種に係る間違い報告書が提出されたため、市町担当者と連携し、事実の確認及び再発予防

策について確認を行った。

予防接種後健康調査事業は、地域の医療機関の協力を得て実施した。

6 精神保健福祉対策

精神障害者の早期治療の促進及び精神障害者を抱える家族の不安の解消、回復途上にある精神障害者の社会参加を支援するため、精神保健福祉相談、訪問指導、地域家族会への支援や啓発普及に努めた。

精神保健福祉法第23条（警察官通報）等の通報については、事前調査及び措置診察等、迅速な対応及び適切な医療の確保を図るとともに、入院中から退院に向けての支援や退院後の経過観察を行った。また、平成30年度に措置入院者を中心とした退院支援に係る「茨城県精神障害者退院後支援計画作成マニュアル」が整備されたことから、精神科病院と連携強化を図りながら、退院後支援計画を作成し、対象者への支援を実施した。

さらに、入院患者における地域移行の促進のため、地域移行支援連絡協議会準備委員会を紙面で開催し課題を検討した。

また、県立こころの医療センターとの協働により、一部の市町で事例検討会を開催し、処遇困難事例への対応方法を学び合うと共に、精神障害者の地域支援について課題を共有した。

「心身喪失者等医療観察法」に基づく地域処遇検討会に参加し、関係機関と連携のもと訪問指導等を実施して社会参加の支援や家族の不安の解消等に努めた。

ひきこもり対策推進事業として、「専門相談」「家族教室」「当事者の居場所づくり」を実施した。また、関係機関による連絡会議を開催し、当事者に対して必要な支援の検討を行った。

7 看護学生実習並びに保健師等人材育成関連事業

看護師及び保健師を志す看護系大学の学生の公衆衛生看護実習を受け入れた。

人材育成関連事業は新型コロナウイルス感染症の影響により、実際の集合研修等は見合わせた。管内の市町を巡回し統括保健師と話し合う機会を設け、情報の共有や課題の把握を行った。

1 感染症予防対策

(1) 感染症患者の届出(確定)及び対応件数

(令和3年度)

類型別	疾患名	発生(届出)件数	検病調査件数
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症(5)	5	5
四類感染症	E型肝炎(3)、つづがむし病(3)、レジオネラ症(7)	13	13
五類感染症	アメーバ赤痢(2)、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症(1)、急性脳炎(3)、クロイツフェルト・ヤコブ病(1)、侵襲性インフルエンザ感染症(1)、侵襲性肺炎球菌感染症(3)、水痘(入院例)(1)、梅毒(4)、破傷風(1)、播種性クリプトコックス症感染症(3)	20	0
指定感染症	新型コロナウイルス感染症	8229	8229

(2) 指定感染症(新型コロナウイルス感染症)施設調査 55 件

指定感染症(新型コロナウイルス感染症)検査調整件数 781 件

(3) 感染症疑い患者の発生及び対応件数(検査の結果、届出取り下げとなった件数)

検査対象疾患	件数	検査件数	検査項目
一類	-	-	
二類	-	-	
三類	-	-	
四類	-	-	
五類	-	-	

(4) 集団発生対応件数

感染症又は症状名	対応施設数	件数	施設種別
感染性胃腸炎	1	9	保育園

(5) 新型コロナウイルス感染症クラスター対応件数

対応施設数 21 件 発生数 287 施設種別 福祉施設・事業所他

(6) インフルエンザ様疾患発生状況報告の状況(延)

種別	患者数	措置数			
		措置数	休校	学年閉鎖	学級閉鎖
幼稚園・こども園					
小学校					
中学校					
高等学校					
計	0	0	0	0	0

(7) 社会福祉施設等におけるインフルエンザ様集団発生状況(延)

施設区分	施設数	患者数
医療機関		
老人福祉施設		
児童関係施設		
障害関係施設		
計	0	0

※本県教育委員会が定めるインフルエンザ様疾患発生時の学級閉鎖の基準は、学級などの欠席率が20%に達した場合に、学校医と相談し措置を講じることとされている。

※各施設において、初発のインフルエンザ様症状の患者発生後7日以内に、その者を含め10人以上の患者が発症した場合に、所轄保健所に報告することとされている。

(8) 社会福祉施設等の巡回指導(新型コロナウイルス現地確認) :15施設

(9) 感染症予防健康教育及び研修会

実施日	対 象	人数	内 容
11月10日	特別養護老人ホーム、老人保健施設、障 碍児者入所施設の感染管理担当者	32	新型コロナウイルス感染症について
11月11日	病院・有床診療所の感染管理担当者	9	新型コロナウイルス感染症について
12月17日	笠間市内の養護教諭、保健主事	20	感染症対策について

(10) 感染症発生動向調査事業

各定点医療機関より発生数の報告及び検体の採取・提供等協力をいただいている。

- (ア) 小児科定点医療機関 3
- (イ) 内科定点医療機関 2
- (ウ) 眼科定点医療機関 0
- (エ) STD定点医療機関 1
- (オ) 基幹定点医療機関 1

(ア) 小児科定点医療機関 : 県立中央病院、
梅里クリニック、けやきクリニック

(イ) 内科定点医療機関 : 県立中央病院
石本病院、

(ウ) 眼科定点医療機関 :

(エ) STD定点医療機関 : 根本産婦人科医院

(オ) 基幹定点医療機関 : 県立中央病院

2 エイズ予防対策

(1) エイズ予防啓発活動

ア 健康教育

日 時	対 象 (参加者数)	内 容
令和3年1月20日	水府学院入所者・職員	(動画による講話)

イ 世界エイズデーイベント

日時・場所	参加者	内 容
令和2年11月29日～ 令和2年12月5日 保健所1階	来所者	【世界エイズデー展示コーナー設置】 ・啓発ポスターや資材の掲示, パンフレット・啓 発グッズの配布 ・ホームページによる啓発普及

(2) エイズ啓発普及事業

ア 年度別エイズ匿名相談件数(エイズ専用☎, 来所・電話相談)

区分 \ 年度	H28	H29	H30	R1	R2
茨城県	563	404	159	260	77
中央保健所	152	35	8	34	7

イ 年度別HIV抗体検査実施件数

区分 \ 年度	H28	H29	H30	R1	R2
茨城県	1,626	1,568	1,515	1,521	458
陽性件数	3	5	5	3	5
中央保健所	357	317	280	297	85

※ 令和2年度より水戸市が中核市となり別集計となった。

(3) エイズ匿名相談・血液抗体検査事業

(R2.4.1～R3.3.31)

区分	相談総数	電話相談		来所相談	血液抗体検査	夜間検査 (再掲)
		一般	エイズ専用			
男性	11	4	7		65	10
女性					20	4
計	11	4	7		85	14

(4) 年代別検査実施状況

(R2.4.1～R3.3.31)

区分	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳以上	不明	計
男性	1	21	21	13	9		65
女性		9	6	3	2		20
計	1	30	27	16	11	0	85

(R2.4.1～R3.3.31)

(5) クラミジア, 梅毒相談・検査実施状況

区分	クラミジア		梅毒	
	検査件数	陽性者	検査件数	陽性者
男性	54	1	55	1
女性	16		16	
計	70	1	71	1

3 結核予防対策

(1) 結核登録患者数

(令和2年末現在)

区分 市町	活動性結核						不 活 結 核 性	活 動 性 不 明	患 者 数 (合 計)	有 病 率	(別掲) 潜在性結核 感染症			
	活動性肺結核										肺 結 核 活 動 性	外 核 性	治 療 中	観 察 中
	登録時喀痰塗抹陽性		登 録 時 結 核 陽 性	登 録 時 他 菌 性	登 録 時 陰 性 の 他	登 録 時 の 他								
	初回治療	再治療												
笠間市			2			1	9	12	16.3		2			
小美玉市	1				2		10	13	26.7	3				
茨城町	2						3	5	15.9	1				
大洗町	1		1		1			3	19.0	2				
城里町	1		1			2	2	6	33.3					
計	5		4		3	3	24	39	111	6	2			

(2) 結核新登録患者の状況

(R2.1.1～R2.12.31)

区分 市町	活動性結核								人口 (R2.10.1)	罹 患 率	(別掲) 潜 在 性 結 核 感 染 症	
	総 数	肺結核活動性						肺 結 核 活 動 性				外 核 性
		総 数	登録時喀痰塗抹陽性			登 録 時 他 菌 性 結 核 陽 性	登 録 時 陰 性 の 他					
			総 数	初回治療	再治療							
笠間市	9	7	4	4			2	1	2	73,664	12.2	1
小美玉市	6	5	4	4				1	1	48,754	12.3	6
茨城町	4	3	3	3					1	31,412	12.7	1
大洗町	3	3	1	1			1	1		15,787	19.0	2
城里町	5	3	1	1			1	1	2	18,005	27.8	
計	27	21	13	13			4	4	6	187,622	14.4	10

(3) 結核新登録患者年齢階層別

(R2.1.1～R2.12.31)

区分 年齢	活動性結核								潜 在 性 結 核 感 染 症	
	総 数	肺結核活動性						肺 結 核 活 動 性		外 核 性
		総 数	登録時喀痰塗抹陽性			登 録 時 他 菌 性 結 核 陽 性	登 録 時 陰 性 の 他			
			総 数	初回治療	再治療					
0～9										
10～19										
20～29	4	4	3	3				1	2	
30～39	2							2	2	
40～49	2	2	2	2					4	
50～59	2	2					1	1		
60～69	1							1	1	
70～79	5	5	2	2			2	1	1	
80～89	8	5	3	3			1	1	3	
90～	3	3	3	3						
合計	27	21	13	13			4	4	6	10

(4) 相談等

(令和2年度)

訪 問		面 接	電 話
実 人 員	延 人 員	延 人 員	延 人 員
26	59	22	204

(5) 管理検診実施状況

(令和2年度)

対象者数	受診者数	再 掲				受診率	検診結果	
		保 健 所 実 施 分	委 託 医 療 機 関 実 施 分	そ の 他	要医療		要観察	
45	42		38	4	93.3		31	
						0.9333		

(6) 家族健診実施状況

(令和2年度)

区 分	受診者数	再 掲 (延)				検 査 結 果	
		間 接 撮 影	直 接 撮 影	ツ 反	QFT	発見患者数	潜在性結核
保健所 実施分	25				25	3	
委託医療 機関実施分	2		2		1	1	
計	27		2		26	4	

(7) 接触者健康診断実施状況

(令和2年度)

区 分	受診者数	再 掲 (延)				検 査 結 果	
		間 接 撮 影	直 接 撮 影	ツ 反	QFT	発見患者数	潜在性結核
保健所 実施分	60				60	3	6
委託医療 機関実施分	56		43			1	
計	116		43		60	4	6

(8) 被保険者別医療公費負担状況(法第37条一2)

(令和2年)

区 分	被用者保険		国 民 健 康 保 険			後 高 期 齢	生 活 保 護 法	そ の 他 (自 費)	合 計
	本 人	家 族	一 般	退 職 本 人	退 職 家 族				
申 請	33	7	8			17	3		68
承 認	33	7	8			17	3		68
保 留									
不 承 認									

(9) 入院勧告患者状況

区 分	新 規	継 続	総 数
令和2年	17	31	48
平成31年 (令和1年)	19	40	59
平成30年	21	26	47

(10) 結核対策研修会、コホート検討会

開催日	事業名	内容	参加者
R2.12.14	コホート検討会	中央保健所結核対策における現状と課題 地域DOTS状況	感染症診査会結核部会委員

(11) 茨城県地域DOTS事業

対象者：令和2年結核患者新規登録者43人中
死亡・転出者等対象外6人除く37人

(令和2年)

対象者数		37	
プ D に O よ T る S 区 タ 分 イ	院内DOTS	4	
	地域 DOTS	(1)原則毎日	0
		(2)週1～2回以上	1
		(3)月1～2回以上	32

院内DOTS、外来DOTS協力医療機関を増やすために、
該当患者がいた際に訪問し、地域DOTS事業について
説明し協力を依頼した。

施設入所者は施設の協力を得ての服薬支援を強化した。

R2年	院内DOTS	外来DOTS	訪問DOTS 外来DOTS	計
	4	24	9	37
	10.8%	64.9%	24.3%	100.0%
院内DOTS、外来DOTS実施医療機関				
<ul style="list-style-type: none"> ・県立中央病院 ・水戸赤十字病院 ・水戸協同病院 ・城里町七会診療所 ・水戸済生会総合病院 ・水戸医療センター ・水府病院 				

4 原子爆弾被爆者対策

(1) 定期健康診断(年2回)

(人)

区分	実施場所	実施年月	対象者	受診者	肝機能検査	要精密検査者	異常なし	未受診者	交通手当受給者
1回目	委託医療機関	R2年7月	20	9	9	2	7	11	3
2回目	委託医療機関	R3年2月	20	5	5	1	4	15	3

(2) 希望による検診(がん検診)

受診実人数:3人

区分	項目別受診者数(延人員)							委託医療機関数	交通手当受給者
	胃がん	肺がん	乳がん	子宮がん	大腸がん	多発性骨髄腫	一般検査		
受診者数	1	3	0	0	2	2	0	2	3
要精検者	0	1	0	0	0	0	0		

(3) 精密検査(定期健診で要精密検査となった者に対して実施)

対象者	受診申込	受診者	要医療	交通手当受給者
4	0	0	0	0

- (4) 被爆二世の健康診断(委託医療機関で実施) 4人
- (5) 被爆者健康手帳の返納 2人(葬祭料支給申請に伴う)
- 健康管理手当証書の返納 1人(葬祭料支給申請に伴う)
- (6) 健康管理手当証書の申請 0人
- (7) 被爆者健康手帳の再交付 1人
- (8) 居住地変更届け 3人
- (9) 一般疾病医療機関 指定申請 4件 変更申請 8件 辞退届 3件

* (4)~(9)については、令和3年3月31日現在の数字である。

5 予防接種対策

(1) 予防接種健康相談

各種予防接種に関する市町村及び一般住民からの相談に、随時対応した。

(2) 予防接種後健康状況調査

「予防接種後健康状況調査実施要項」に基づき、DT(沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド)ワクチン、日本脳炎ワクチン、DPT-IPV(沈降精製百日せきジフテリア破傷風不活化ポリオ混合)ワクチン、高齢者用肺炎球菌ワクチンについて、4医療機関及び保護者、本人の協力を得て、予防接種後28日間の健康状況調査を実施した。

DTワクチン	29 件
日本脳炎ワクチン	1 件
DPT-IPVワクチン	140 件
高齢者用肺炎球菌ワクチン	16 件

(3) 予防接種に係る間違い報告

① 新型コロナウイルス感染症以外

		ワクチンの種類の間違い	不必要な接種(対象外の年齢の接種含む)	接種間隔の間違い	摂取量の間違い	接種部位・投与方法の間違い	接種器具の不適切な扱い	期限切れワクチンの使用	その他
発生件数									
内 訳	四種混合								
	三種混合								
	二種混合								
	MR			3					
	ヒブ								
	小児用肺炎球菌			1					
	日本脳炎				1				
	その他			1					
② 新型コロナウイルス感染症			7	6			3		

6 精神保健福祉対策

(1) 精神保健相談・ひきこもり相談(定期)

(単位:人)

区 分	嘱託医による相談	
	実人員	延人員
一般精神相談	8	8
老人精神相談	0	0
ひきこもり専門相談	2	2
計	10	10

実施日: 精神保健相談(定期):4~8月毎月第1・3金曜日/ 9~3月 毎月第1・4金曜日

ひきこもり専門相談(定期):毎月第2金曜日

(2) 精神保健相談・ひきこもり相談(随時)

(単位:人)

区 分	電話相談		面接相談		訪問指導		合 計	
	実人員	延人員	実人員	延人員	実人員	延人員	実人員	延人員
一般精神相談	103	506	11	35	8	46	122	587
老人精神相談	12	12	2	2	0	0	14	14
計	115	518	13	37	8	46	136	601
ひきこもり相談(再掲)	3	15	3	3	0	0	6	18

(2)-1 申請・通報処理件数

(R2.4.1~R3.3.31)

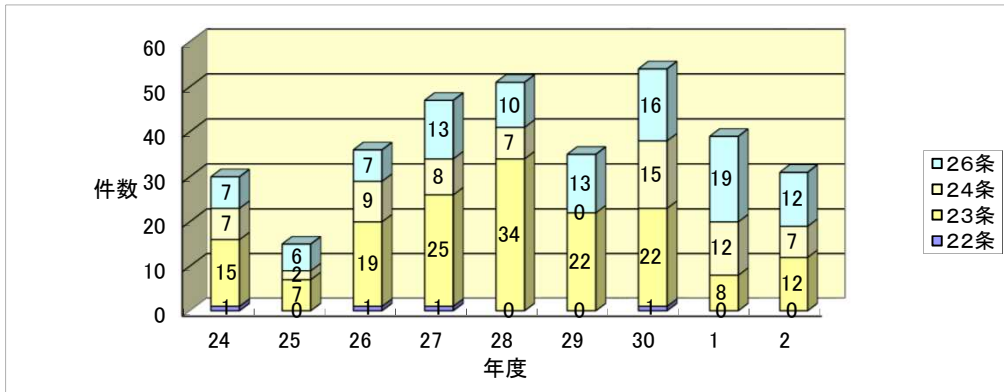
区分	通報内容							処理状況																										
	22条	23条	24条	25条	26条	26条の3	27条	22条		23条		24条		25条		26条		26条の3		27条2項		計												
	条 (一般)	条 (警察官)	条 (検察官)	条 (保護観察所)	条 (矯正施設)	条の3 (医療観察法)	2項 (通報なし)	計	診	要	診	要	診	要	診	要	診	要	診	要	診	要	診	要										
									察	置	察	置	察	置	察	置	察	置	察	置	察	置	察	置	察	置	察	置	察	置				
水戸市	7	5			3	1	16			4	3			4	1			3																
笠間市	2	1			3		6			1	1			1				3																
小美玉市	1	1			4		6				1			1				4																
茨城町							0																											
大洗町					1		1											1																
城里町	1						1			1																								
管轄外		1					1				1																							
住所不定							0																											
計	0	12	7	0	11	1	0	31	0	0	0	5	6	1	4	1	2	0	0	0	11	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	21	7	3

(2)-2 措置診察不要件数の内訳

(R2.4.1~R3.3.31)

通報内容	通報件数	診察不要件数	診察不要内訳			
			医療保護入院	任意入院	通院	その他
22条	0					
23条	12	5	3	0	1	1
24条	7	4	0	1	0	3
26条	12	12	0	0	0	12
合計	31	21	3	1	1	16

(2)-3 申請・通報件数の年次推移



(3) 精神障害者保健福祉手帳交付者数

(令和3年3月末現在)

等級	市町	水戸市	笠間市	小美玉市	茨城町	大洗町	城里町	計
1級		198	46	28	28	13	11	324
2級		1,395	382	172	131	85	76	2,241
3級		812	240	103	55	22	43	1,275
計		2,405	668	303	214	120	130	3,840

(4) 通院医療公費負担状況

(令和3年3月末現在)

区分	症状性を含む器質性精神障害	及び精神作用物質使用による精神障害	統合失調症・統合失調症型障害及び妄想性障害	気分障害	神経症及び身体表現性障害	関連した行動症候群	生理的障害及び身体的要因に	成人の人格及び行動の障害	精神遅滞	心理的発達の障害	小児期及び青年期に通常発症する行動及び情緒の障害等	てんかん	その他の精神障害	計
市町														
水戸市	116	45	781	1,035	472	10	13	40	162	115	166	1	2,956	
笠間市	21	19	256	250	78	4	0	17	34	20	57	0	756	
小美玉市	15	3	136	101	33	0	0	8	27	15	33	0	371	
茨城町	19	4	97	101	34	0	2	2	10	4	20	0	293	
大洗町	4	1	51	42	16	0	1	2	6	3	12	0	138	
城里町	9	2	46	36	17	0	1	4	7	3	14	0	139	
計	184	74	1,367	1,565	650	14	17	73	246	160	302	1	4,653	

(5) 啓発・普及

① 明るいくらし促進事業

精神障害者やその家族、地異住民等を対象に、疾病及び精神保健福祉制度の正しい知識の啓発普及を行うことにより、精神障害者の社会復帰や疾病の再発防止を図ることを目的とする。

	開催日	実施場所	内 容	参加人員
1	令和3年3月	資料「発達障害-理解と支援の基本」の送付	講演会を企画予定であったが、新型コロナウイルス感染症の流行により開催困難と判断し、関係機関への資料送付による自主研修とした。	56件 (民生委員, 行政職員, 施設関係者, 等)

(6) 家族会の育成・支援

家族会の育成・支援及び家族会事業への協力

- ・水戸地区精神保健福祉会（新型コロナウイルス感染症で総会等が書面開催となったため、参加なし）
- ・笠間地方精神障害者後援会（新型コロナウイルス感染症で総会等が書面開催となったため、参加なし）

(7) 自殺対策

ア 自殺対策にかかるキャンペーン

新型コロナウイルス感染症の影響により中止

※キャンペーンに替えて、パンフレットやティッシュを保健所窓口に設置し住民への理解を図った。

7 看護学生実習並びに保健師等人材育成関連事業

- (1) 公衆衛生看護学実習 筑波大学(4年次) 3名(7/17,29の2日間)
 茨城県立医療大学(4年次) 当所作成の動画視聴によるオリエンテーション
 当所にて実習 ①8/17 2名、②8/18 3名

(2) 人材育成研修関連事業

①水戸保健医療圏保健師業務研修会

集合研修	第1回	第2回
実施月日(曜日)	R2.7.27(月)	R2.11.12(木)
実施場所	水戸市保健所	笠間市保健センター
参加者数	30名	22名
実施内容	(1) 講演「新型コロナウイルス感染症と予防を踏まえた保健師活動について」 講師 水戸市保健所 土井幹雄所長 (2) 終了後、役員会開催	(1) 講演「アンダーマネジメント入門」 講師 一般社団法人 日本アンダーマネジメント協会 堀江幸子先生 (2) 終了後、役員会開催

* 役員会は合計4回開催 上記のほか、R2.6.29(月)及びR3.3.19(金)にも開催した。

オンライン研修		
実施月日(曜日)	R3.2.6(土)2.9(火)	R3.2.12(金)
実施場所	水戸市 笠間市	城里町
参加者数	水戸保健所1名 笠間市7名	1名
実施内容	研修名「地域診断に基づく保健活動の展開」 公益社団法人日本看護協会	研修名「カラダコンディショニングセミナー」

オンライン研修		
実施月日(曜日)	R3.2.14(日)	R3.2.19(金)
実施場所	中央保健所	大洗町健康増進課
参加者数	5名	1名
実施内容	研修名「中堅とベテランが育つと病棟が変わる！育てることと効果的なかかわり方」	研修名「第5回 切れ目のない妊娠・出産・育児支援のためのセミナー 周産期メンタルヘルスから児童虐待防止へ」

②管内統括保健師会議

新型コロナウイルス感染症の影響により集合会議を開催せずに、管内及び水戸市へ訪問し、統括保健師とその補佐する者と面談し、状況把握、課題などの共有をした。

令和3年度
事務事業計画概要

令和3年度 事務事業計画概要

1 基本方針

保健所は、管内地域の住民誰もが生涯にわたって明るく健康に安心して暮らすことができるように、地域保健活動の広域的・専門的・技術的拠点として、保健・医療・福祉の関係機関と連携しながら、住民に対する保健指導、健康相談、地域保健に必要な事業等を積極的に推進する必要がある。

一方、高齢化や生活様式の変化等による生活習慣病の増加、食の安全・安心への関心の高まりなどにより、地域住民に対して、より健康で質の高い快適な生活が送れるよう支援していくことが求められている。

このようなことを踏まえ、安心して医療を受けられる体制の整備、生涯にわたる健康づくりの支援、誰もが安心して暮らせる保健の充実、健康を支える安全快適な生活環境づくりを進めていく。

2 重点事業

基本方針に基づき、保健・医療・福祉と連携した各種施策を効果的に推進し、よりきめ細かなサービスが提供できるようにする。その実現のためには、令和3年度において、次のことを重点的に実施する必要がある。

- (1) 安心して医療を受けられる体制を確保するため、水戸医療圏の医療需要の将来推計や各病床機能の将来の必要量等について、地域医療構想調整会議において検討するとともに、病院、診療所、介護老人保健施設及び調剤薬局等の医療提供施設における計画的な立入検査を行い、医療法をはじめ関係各法令に準拠した指導を徹底する。
- (2) 少子・高齢化が急速に進むなか、地域住民一人ひとりの健康づくりを支援するため、市町や関係団体と連携した食生活改善の推進や運動習慣の普及などを推進し、職域や地域への健康づくりの定着を図る。
- (3) 新型コロナウイルス感染症、結核、ノロウイルス、インフルエンザ等の集団感染の恐れのある感染症対策については、医療機関・関係機関等と連携し、発生予防に力を入れるとともに、発生時には迅速かつ効果的な対策を実施し、蔓延防止に努める。
- (4) 食中毒等の食品による事件・事故を未然に防止し、併せて食品表示の適正化を図るため、食品営業施設や食品卸売市場等の監視指導を充実する。併せて、品等事業者の食品衛生に係る自主管理体制の推進に努める。
- (5) 地域における食品衛生の更なる充実を図るとともに、住民の食の

安全に関する不安を払拭するため、リスクコミュニケーションの推進（食の安全・安心に係るリスクコミュニケーションの開催等）に努める。

(6) 精神障害者が地域で安心して生活をするためには、適正な医療の提供と人権の確保を図るとともに、福祉分野等と連携して精神保健福祉相談、訪問指導、社会復帰のための事業を実施し、地域での生活を支援していく。

(7) 保健所は、地域の健康危機管理の拠点としての役割を担っていることから、自然災害をはじめ、食中毒や感染症など、住民の健康を害する事態が発生した場合に、迅速、円滑かつ適切に対応するため、管内の市町、警察署、医師会、医療機関等との連絡体制を確立する。

また、自然災害発生時の災害医療体制の確保に加え、食中毒や感染症等の発生時等には、速やかに原因を究明するとともに拡大防止を図るため、関係者に対する衛生指導等を徹底する。

3 各課の主要事業計画

(1) 総務課

ア 職場研修

当所職員の資質の向上と地域住民に対して適切なサービスが提供できるよう、職場研修を実施する。

イ いばらき予防医学プラザの管理

いばらき予防医学プラザ庁舎内の空調、エレベーター、防火シャッター等各種設備の適切な維持・管理を行う。

(2) 地域保健推進室

ア 地域保健

管内郡市医師会及び各種関係機関と連携を図るとともに、水戸保健医療福祉協議会を開催し、地域の実情を踏まえた総合的な保健医療施策を計画的に進める。

また、医療計画の一部として策定された「茨城県地域医療構想」の実現に向けて「地域医療構想調整会議」を開催し、地域ニーズにこたえる医療機能が提供できる体制の検討を行う。

健康危機管理については、感染症の拡大や災害、事故などによる地域住民の健康被害を最小限に防ぐため、平時の各種対策班の訓練並びに講習会へ参加する。

大規模災害が発生した際、地域において必要とされる医療等が迅速かつ的確に提供されるよう地域災害医療コーディネーターを中心に、災害医療体制に係る意見交換会を開催し、関係機関との連携を強化する。

高齢者や障がい者が家庭や地域の中で安心して生活できるよう、

茨城型地域包括ケアシステム事業や各市町等が実施する地域ケアシステム推進事業、医療機関等が実施する地域リハビリテーション及び在宅医療・介護の推進を図る。

臨床研修医や医学生の公衆衛生研修又は実習については、医師として医学及び医療の果たす社会的役割の認識、地域医療の連携や役割についての理解を図るため積極的に受け入れる。

イ 医 事

適正な医療体制の確保を図るため、医療関係法令等に基づく、許認可事務を適切に行う。

また、医療法に基づく病院、診療所等の立入検査については、計画策定のもと、医療安全管理を含めた適切な管理指導を行う。

ウ 介護保険

制度の円滑な運営及び適切な管理体制整備を図るため、介護サービス事業者等の実地指導を行う。

また、市町村の介護予防事業担当者等に対し研修を実施し、適切なサービスの提供及び専門性の向上を図る。

エ 総合相談

住民等からの保健、医療及び福祉に係る様々な相談について、総合的な相談窓口として業務に当たる。

相談内容の中で、医療機関や介護保健施設の改善や確認等が必要と判断した場合は、関係機関に事情等を聴取し適切な対応を講じる。

オ 厚生統計調査

管内の人口の動向並びに保健、医療施設、医療従事者、受療動向等を把握するため、各種統計調査を実施する。

また、国民の保健、医療、福祉等世帯状況を総合的に把握し、厚生労働省で行う保健・福祉施策の基礎資料とするため、国民生活基礎調査，社会保障・人口問題基本調査を実施する。

カ 医療従事者免許

医療従事者の各種免許の新規申請、書換交付申請、再交付申請、抹消申請事務等を行う。

(3) 衛 生 課

ア 食品衛生

「食品衛生法」及び「茨城県食品衛生条例」に基づく営業施設の許認可及び監視指導を行い、飲食に起因する衛生上の危害の発生を防止するとともに、食中毒予防の啓発を行う。

営業者に対しては、各種衛生講習会を開催し、食品衛生意識高揚のため衛生教育事業を徹底していくとともに、食品表示法とHACCPの考え方を取り入れた食品衛生管理の周知に努める。消費

者に対しては、食品衛生知識の普及向上を図るため、食品衛生街頭キャンペーンや食品衛生フェア等を実施する。

イ 薬事衛生

薬局、医薬品販売業及び医療機器販売業の許可並びに毒物劇物販売業の登録等に伴う営業施設の立入検査を行い、医薬品の適正な流通の監視指導を強化し、施設における適正な管理等を指導するとともに、医薬品の有効性・安全性の確保を図る。

医療機関等において医薬品（特に毒薬及び麻薬）が適正に管理されているか確認し事故防止に努める。

覚醒剤・シンナーなどの薬物乱用を防止するため、所内職員及び民間の指導員によるキャンペーン、講習会等を実施し、一層の普及・啓発に努める。

また、若者が集う各種イベント会場において横断幕の掲示等啓発事業を実施する。

大麻・けしの不正栽培の撲滅を図るため、その発見除去に努める。

ウ 血液

医療に不可欠な血液及び血液製剤を安定して供給するため、献血思想の普及高揚と献血組織の育成強化を図り、献血者の確保に努める。また、血液センター及び市町・民間献血協力団体との連絡を密にし、円滑な事業推進を図る。

献血併行型骨髄バンク登録会を積極的に実施し、登録者の確保を図る。

エ 環境衛生

環境衛生関係法令に基づいて、営業者に対して事前指導を行うほか、許認可に伴う施設の立入検査を行い、環境衛生営業等施設に対する衛生指導を強化して、公衆衛生の向上に努める。

オ 水道

「水道法」及び「茨城県安全な飲料水の確保に関する条例」に基づき、水道施設が適正に維持管理されるよう指導を行い、安全な飲料水の確保に努める。

(4) 監視指導課

ア 食品監視

(ア) 令和3年度食品衛生監視指導計画に基づき、食品営業施設の監視指導を実施する。扱う食品が短期間に大量にかつ広域に流通する大型店舗内食品営業、食品製造業、飲食店営業（仕出し・弁当等の調製施設及び旅館・ホテル）、事業所の給食施設の監視指導を強化して不良食品の製造・流通・提供を防止する。

- (イ) 中央保健所管内で製造または流通している食品について収去検査を実施し、食品の表示・品質・規格等が適正であるかを確認する。
- (ウ) 令和3年6月、食品衛生法が改正され、原則、全ての食品等事業者にはHACCP(危害分析・重要管理点方式)が義務化される。
監視や食品衛生講習会を通じ、HACCPによる衛生管理の普及を図るとともに、食品製造施設にあつては「いばらきハサップ」の導入を促進する。
- (エ) 食の安全・安心に対する考え方や取組について、消費者、営業者、行政など関係者による意見交換会を開催し、食の安全に関する相互理解を促進する。
- (オ) 違反食品や苦情食品について、製造施設の立入調査を実施し、発生原因の究明と改善指導を行う。

イ 薬事監視

- (ア) 薬局の調剤業務に係る医療安全等の確保及び一般用医薬品の販売・管理に係る指針・手順書等の策定とその実施について指導する。
- (イ) 薬局及び医薬品販売業における資格者について、法令で定める員数の充足状況を確認し、指導する。
- (ウ) 薬局等に対し、一般用医薬品等の販売時における消費者への正確な情報提供について徹底を図る。
- (エ) 無承認・無許可医薬品の流通防止及び効能・効果を誇大に表示した不正医薬品等を排除し、医薬品の信頼性を確保する。
- (オ) 毒物劇物を保管・販売・使用している施設に積極的に立ち入り、保管使用状況を監視指導する。また、販売記録、使用記録の確認を行い、毒物劇物が誤用・盗難・不適正に使用されないよう、安全管理意識の向上を図る。

ウ 環境監視

- (ア) 観光地の旅館・ホテル・民宿等については、宿泊客等の安全・安心・快適を確保するため、人出が予想される時期の前に重点的に監視指導を実施する。
- (イ) 公衆浴場施設については、浴槽水によるレジオネラ症が発生しやすいことから、浴槽水の自主検査の実施を指導する。水質検査でレジオネラ属菌陽性となった施設については、文書指導等により改善を促し、再検査で不検出を確認する。
- (ウ) 特定建築物及び興行場については、必要に応じて空気環境測定等の行政検査を実施する。また、施設管理記録の開示を求め、施設内環境が適正に維持管理されているかどうか確認指導する。

- (エ) 取次店を除くクリーニング施設については、施設構造・製品の衛生的な取扱・有機溶剤の保管等が適正であるか確認指導する。
- (オ) 遊泳用プールについては、夏季営業のプールは夏季の遊泳シーズン前に、年間営業のプールは冬場に立入検査を行い、衛生管理の徹底を図る。

(5) 健康増進課

ア 健康づくり

「すべての県民が健康で明るく元気に暮らせる社会の実現」を目指し、県計画である「第3次健康いばらき21プラン」の展開について推進、普及啓発を図り、地域に根ざした健康づくりの取り組みに努める。また、県民の運動習慣づくりを図るためのヘルスロードの普及啓発に努めるほか、たばこの健康への影響や健康増進法に基づく受動喫煙防止対策に関する普及啓発に努める。

また、地域・職域連携推進協議会の開催などを通じて、地域保健と職域保健との連携による効果的な保健事業の展開と生涯を通じた健康づくりを推進する。

イ 栄養改善指導・管理

栄養・食生活は、生活習慣病との関連が深いことから、適正な栄養素の摂取のための食生活の普及を図り、給食施設や県民の栄養食生活改善についての指導・援助を行う。

さらに、地区組織活動推進のため、食生活改善推進員の育成を図る。

ウ 食育

「第3次健康いばらき21プラン」に基づき関係機関との連携のもと、食育の推進を重点項目としてライフステージに応じた推進を図る。

エ 歯科口腔保健

歯の喪失の防止は、食物の咀嚼のほか、食事や会話を楽しむ等による、生活の質の確保の基礎となるものである。このため、「8020・6424」を目標に乳幼児期から高齢期まで様々な機会をとらえ、歯の喪失の原因となるむし歯及び歯周病の予防の普及啓発に努め、県民の生涯を通じた歯と口腔の健康の保持をめざす。

オ 母子保健

母子保健対策や医療技術の進歩により、母子保健指標は著しく改善したが、育児不安や児童虐待、思春期の問題等親子の心の健康については大きな課題となっている。このため、精神、運動発達面に障害を持つ児や長期療養児等に対する療育支援を行うとともに、市町の保健、児童福祉関係者を対象に虐待防止等に関する

る研修を行い、保健・医療・福祉・教育と関係機関との連携に努めながら、育児不安の解消、虐待の予防を図り、子育て支援を行う。

小児慢性特定疾病医療費支給事業において、医療費の公費負担を行う。

また、不妊に悩む夫婦に、不妊治療費の助成を行い、経済的負担の軽減を図る。

カ 肝炎対策の推進

(ア) 肝炎治療についての相談に対し、核酸アナログ製剤治療，インターフェロンフリー治療等に係る医療費の助成事業の周知を行い、助成につなげるなど広く県民へ広報していく。

(イ) 肝炎ウイルス陽性者を対象に、医療機関の受診勧奨をするとともに、受診状況及び診療状況を確認する等のフォローアップ事業を実施することで、ウイルス性肝炎患者等の重症化予防を図る。

キ 難病対策の推進

(ア) 指定難病特定医療費助成制度に基づく医療費の一部公費負担による経済的負担の軽減に努める。

(イ) 難病患者等に対する相談(随時)、専門医師等による相談会、講演会を開催し、患者や家族の不安の軽減を図る。

(ウ) 在宅難病患者支援の推進

療養が長期にわたる神経筋疾患患者及び家族に対し、医療・保健・福祉関係機関との連携による難病患者居宅生活支援の推進を図る。

ク アスベスト対策

相談及び健康被害救済制度の申請等の対応に努める。

(6) 保健指導課

ア 感染症予防対策の推進

(ア) 感染症患者発生時には、蔓延防止や感染源追求のため迅速な防疫措置に努める。

(イ) 感染症発生届や感染症発生動向調査による患者発生の情報を収集・分析し、市町や医療従事者等に感染症発生と予防に関する情報提供を行う。

(ウ) 社会福祉施設等への巡回指導等を行い、感染症の集団発生の未然防止に努める。

イ エイズ等性感染症予防対策事業の推進

茨城県のエイズ患者・感染者は増加傾向にあり、特に20代、30代の報告が多く見られる。このため、若年層への予防啓発普及の強化に努めるとともに、相談・検査体制についても夜間検査、

即日検査の導入を図り、受診者の利便性を図る。

併せて、クラミジア・梅毒等の性感染症の検査も実施する。

(ア) 正しい知識の普及・啓発

市町の広報協力による予防啓発、職域・学校等への普及活動、研修会を開催し、健康教育による普及に努める。

(イ) エイズ・クラミジア・梅毒相談・検査

不安や心配のある住民に対する相談と、匿名・無料検査の実施の強化に努める。検査体制についても週1回及び夜間(月1回)実施し、エイズについては即日検査を実施する。

ウ 肝炎対策の推進

- (ア) B型、C型肝炎ウイルス感染者については肝硬変や肝がんに行進することがあることから、正しい知識の普及及び肝炎ウイルス検査・相談により感染者の早期発見、早期治療を推進する。そのため、随時電話相談他、毎週1回定例日を設けて無料匿名検査・相談を実施する。

エ 結核対策の推進

- (ア) 医療機関に対し、結核発生届の速やかな提出の徹底を図る。
- (イ) 新規登録者の訪問指導等を強化し結核治療の必要性を認識させるとともに、家族接触者健康診断を徹底する。
- (ウ) 「感染症診査協議会結核部会」において治療の基準等について協議し、適正医療の推進に努める。
- (エ) 結核指定医療機関や市町及び団体等と連携し、地域DOTS(直接服薬確認法)により治療の徹底を図る。
- (オ) 治療中断者・病状不明者に定期病状調査を実施し、再発・二次感染の防止に努める。
- (カ) 学校、病院、介護老人保健施設等に対し、法で定める定期健康診断を勧め、集団発生の予防を図る。

オ 原子爆弾被爆者対策

原子爆弾被爆者に対する救護に関する法律に基づき、被爆者健康診断及び被爆二世健康診断を委託医療機関において実施するとともに、健康管理手当等の各種手当の申請受付事務を行う。

カ 予防接種対策

感染症予防対策の一環として、市町が実施する予防接種事業の指導及び予防接種に関する各種相談に応じる。保健所に予防接種に係る間違い報告書が提出された場合は市町の担当者と連携し、事実及び再発防止策の確認を行うとともに、必要により地域保健推進室と連携し、医療機関の医療安全対策等について適切な対応を行う。

地域の医療機関の協力を得て、予防接種後健康状況調査を実施することにより、有効かつより安全な予防接種の実施に資する。

キ 精神保健福祉対策

- (ア) 地域精神保健福祉業務の中心的な行政機関として、相談・訪問指導等の充実を図り、精神障害者の適正医療や障害者の地域生活や社会参加の促進を支援する。
- (イ) ひきこもり状態にある者をかかえる家族等に対し、専門相談及び家族教室を実施し、関係機関・団体等との連携を図り、当事者のひきこもりからの回復や自立を支援する。
- (ウ) 精神障害者の地域生活を支援するため、精神保健と障害者総合支援関係機関との情報交換や連携強化が必要である。そのため、地域移行支援連絡協議会や事例検討会の開催ならびに市町が行う相談や社会復帰事業に対し協力等支援を行う。
- (エ) 一般住民や精神障害者の家族等を対象に、精神障害に関する理解を深め、地域での障害者の療養生活を支援するために、講演会等を開催し精神保健の啓発普及を図る。
- (オ) 精神保健福祉法第 23 条等の通報にかかる診察の手続き及び適切な医療の確保を図る。
- (カ) 措置入院患者等退院後支援については、本人の意向やニーズ・課題に応じて多職種・他機関の連携を確保し、必要な医療や支援が継続して受けられるように支援する。

ク 保健師等人材育成事業

茨城県保健師人材育成指針に基づき、管内の保健師活動の推進のために、研修会等を開催し人材育成の推進を図る。

4 令和3年度事務事業計画

	総務課 (地域保健推進室)	衛生課	監視指導課	健康増進課	保健指導課	
4月	<ul style="list-style-type: none"> 保健所長会 保健所長会総会 	<ul style="list-style-type: none"> 医事担当者会議 原子力防災資機材取扱合同訓練等打合会議 介護実地指導担当者会議 各種統計調査(月報, 年報) 病院診療所届出許可等事務(通年) あんま針灸マッサージ届等事務(通年) 救急医療関係事務(随時) 新型インフルエンザ関係(随時) EMIS入力訓練(毎月) 透析医療機関調査(～5月中旬) 医療従事者免許申請事務(通年) 	<ul style="list-style-type: none"> 衛生課長等会議 「陶炎祭」と「つつじまつり」食品取扱施設監視 骨髄バンク担当者研修会 不正大麻・けし撲滅運動(～7月末) 調理師試験担当者会議 市町村等水道事業担当課長会議 市町村血液業務主管課長等会議 	<ul style="list-style-type: none"> 衛生課長等会議 食品製造業監視(通年) 給食施設監視(通年) HACCP導入施設監視(通年) 薬局・医薬品販売業監視(通年) 毒物及び劇物販売業・製造業・輸入業監視(通年) 高度管理医療機器等販売業監視(通年) 麻薬等取扱施設立入検査(通年) 旅館業監視・公衆浴場監視(通年) クリーニング所監視(通年) 遊泳用プール監視(通年) 特定建築物監視・興行場監視(通年) 	<ul style="list-style-type: none"> 各市町食生活改善推進協議会総会(～5月) 家庭訪問(乳幼児・妊産婦等) 小児慢性特定疾病医療費支給事業申請事務(通年) 不妊治療費助成事業申請事務(通年) 城里町母子愛育会総会 管理栄養士・栄養士免許申請事務(通年) 指定難病特定医療費助成制度申請事務(通年) 肝炎治療費助成事業申請事務(通年) 石綿健康被害救済制度申請相談(随時) 健康増進法に基づく受動喫煙防止対策業務(随時) 	<ul style="list-style-type: none"> 感染症診査協議会結核部会(毎月第2月曜日14:30～) 性感染症・肝炎相談及び検査(毎週火曜日 受付9:00～10:00) 夜間性感染症・肝炎相談及び検査(毎月第2火曜日受付17:00～19:00) 精神保健福祉相談(随時) 精神保健相談(予約制)(毎月第1・3金曜日13:00～15:00) ひきこもり専門相談(予約制)(毎月第2金曜日14:00～16:00) ひきこもり居場所(毎月第2・4水曜日13:00～15:00) ひきこもり家族教室(毎月第3月曜日13:00～15:00) 家庭訪問(結核, 精神, 難病) 予防接種後健康状況調査 結核・感染症発生動向調査事業(毎月10日) 感染症発生動向調査事業(毎週火・水曜日) 感染症予防事業負担金交付申請及び実績報告(通年) 地域活動支援センター運営委員会(年2～3回) DOTSカンファレンス <ul style="list-style-type: none"> 茨城東病院 毎月第2水 県立中央病院 奇数月第3木 筑波学園病院 毎月第2月 感染症発生に伴う調査・指導(随時) 精神保健通報・緊急時対応(随時) 精神障害者退院後支援(随時) 感染症対策課関係事務担当課長等会議
5月	<ul style="list-style-type: none"> 保健所長会 	<ul style="list-style-type: none"> 社会保障・人口問題基本調査説明会 医療機関(病院)立入検査(～9月) 健康増進地域保健事業報告 茨城県地域包括ケアシステム関連事業(～3月) 在宅医療介護連携推進事業市町運営会議(随時) 在宅医療介護連携推進事業担当者会議 	<ul style="list-style-type: none"> 環境衛生業務担当者会議 薬事担当者会議 食品衛生担当者会議 水戸食品衛生協会総会 給食施設ふきとり検査(～7月) 毒劇物保安協会講演会 不正大麻・けし重点取締り 茨城県薬物乱用防止指導員協議会総会 薬物乱用防止指導員水戸地区協議会総会及び研修会 	<ul style="list-style-type: none"> 食品衛生担当者会議 環境衛生業務担当者会議 薬事担当者会議 食品表示担当者会議 給食施設ふきとり検査(～7月) 遺伝子組み換え農産物収去検査(～6月) 食品の放射性物質検査(通年) 無承認無許可医薬品対策事業(～7月) 県内流通医薬品等試験検査(～2月) 不正大麻・けし重点取締り 指定洗濯物を取り扱うクリーニング所実態調査(～2月) 	<ul style="list-style-type: none"> 世界禁煙デー(31日) 禁煙週間(5/31～6/6) 茨城県食生活改善推進団体連絡協議会総会 要支援妊産婦ケース会議 	<ul style="list-style-type: none"> 県立医療大学公衆衛生看護学実習(11～13)延期 管内保健師業務研修会総会(紙面開催)

	総務課	総務課 (地域保健推進室)	衛生課	監視指導課	健康増進課	保健指導課
6月	・保健所長会	<ul style="list-style-type: none"> ・社会保障・人口問題基本調査説明会 ・国民生活基礎調査 ・筑波大学医学群学生実習 ・地域包括ケアシステムネットワーク会議 ・災害医療体制意見交換会 ・医療監視員新規担当者研修会 ・医療機関（診療所）立入検査（～2月） 	<ul style="list-style-type: none"> ・水道週間（1～7日） ・水道週間キャンペーン（6/6） ・生食用食肉収去検査（～8月） ・食品衛生業務業績発表会 ・薬物乱用防止「ダメ。ゼッタイ。」普及運動（6/20～7/19） ・同上 626 キャンペーン（23日） ・県内産野菜収去（～1月） 	<ul style="list-style-type: none"> ・大型商用施設監視指導（～2月） ・事業所給食施設巡回指導（～2月） ・茨城県菓子工業組合笠間支部巡回指導 ・輸入食品収去検査（TBHQ, SO2） ・県内産野菜収去（～1月） ・食品衛生業務業績発表会 ・農薬危害防止運動（～7月） 	<ul style="list-style-type: none"> ・歯と口の健康週間（4～10日） ・管内食生活改善推進協議会総会 ・管内市町健康増進主管課長会議 ・食育推進月間 ・給食施設個別指導（通年） ・移動発達相談 ・管内市町要保護児童対策地域協議会代表者会議 ・指定難病特定医療費更新申請受付事務（～8月） 	<ul style="list-style-type: none"> ・原子爆弾被爆者一般健康診断（医療機関委託） ・笠間地方精神障害後援会総会（紙面開催） ・HIV検査普及週間（6/1～6/7） ・茨城キリスト教大学公衆衛生看護実習 ・筑波大学公衆衛生看護実習（1～3）中止
7月	<ul style="list-style-type: none"> ・保健所長会 ・関東甲信越静岡ブロック保健所長会総会 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会保障・人口問題基本調査 ・水戸市医師会勉強会 ・保健福祉部防災訓練 ・地域医療構想調整会議 ・介護保険施設等指導（～2月） 	<ul style="list-style-type: none"> ・水道統計等打合せ会議 ・「愛の献血助け合い運動」推進月間 ・夏期食品一斉取締り ・食中毒キャンペーン（水戸駅、笠間ジョックセンター） ・食中毒予防月間（7/1～8/31） ・魚介類の水銀、PCB検査（～3月） ・夏期食中毒一斉巡回指導 ・海岸売店調査・指導 ・登録販売者試験願書受付 ・認定小規模食鳥処理場衛生状況調査 ・調理師試験願書受付 ・製菓衛生師試験願書受付 	<ul style="list-style-type: none"> ・食中毒予防月間（7/1～8/31） ・夏期食品一斉取締り ・夏期食品収去検査 ・魚介類の水銀、PCB検査（～1月） ・二枚貝のノロウイルス検査（～9月） ・輸入柑橘類収去検査（有機リン系農薬） ・医薬品等一斉取締り（～12月） ・医療機器一斉取締り（～12月） ・プール監視（季節） ・旅館一斉監視指導（大洗地区） 	<ul style="list-style-type: none"> ・総合母子・福祉ネットワーク連携会議（管内母子保健担当者会議） ・管内行政栄養士会議（食育ネットワーク） ・要支援妊産婦ケース会議 ・市町村歯科保健担当者連絡会 	<ul style="list-style-type: none"> ・入院勧告結核患者の自己負担額再認定 ・措置入院患者の費用再認定
8月	<ul style="list-style-type: none"> ・保健所長会 ・予備監査 		<ul style="list-style-type: none"> ・食品衛生週間 ・関東ブロック食品衛生監視員研修会 ・生食用鮮魚介類成分規格検査 ・毒物劇物取扱者試験 	<ul style="list-style-type: none"> ・食品衛生週間 ・関東ブロック食品衛生監視員研修会 ・加工食品収去検査（放射能） 	<ul style="list-style-type: none"> ・管内食生活改善推進協議会役員会 ・管理栄養士学生実習（茨城キリスト教大学・常磐大学） ・総合母子・福祉ネットワーク研修会 ・出張障害者施設口腔ケア事業 ・給食施設集団指導 ・難病医療講演会 ・多目的コホート講演会 	<ul style="list-style-type: none"> ・管内保健師業務研修会

	総務課	総務課 (地域保健推進室)	衛生課	監視指導課	健康増進課	保健指導課
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・保健所長会 		<ul style="list-style-type: none"> ・登録販売者試験 ・畜・水産食品の残留医薬品検査 ・認定小規模職長処理場衛生状況調査 	<ul style="list-style-type: none"> ・県外産野菜収去検査（残留農薬） ・国産農産物漬物収去検査（細菌） ・畜・水産食品の残留医薬品検査 ・給食施設ふきとり検査（～2月） 	<ul style="list-style-type: none"> ・循環器疾患予防月間 ・給食施設集団指導 ・要支援妊産婦連絡会 ・小児慢性特定疾病ピア相談会 ・公衆栄養学臨地実習 ・市町村歯科保健担当者連絡会 ・食改パワーアップ地域研修会 ・要支援妊産婦ケース会議 	<ul style="list-style-type: none"> ・結核予防週間 ・感染症対策研修会（～2月） ・社会福祉施設巡回指導（～2月） ・精神科病院実地審査（～2月）
10月	<ul style="list-style-type: none"> ・保健所長会 ・出先機関次長等会議 ・全国保健所長会総会（所長） ・日本公衆衛生学会総会（所長） 	<ul style="list-style-type: none"> ・原子力防災資機材取扱合同訓練 	<ul style="list-style-type: none"> ・百里航空祭監視指導 ・薬と健康の週間 ・麻薬・覚せい剤等乱用防止運動（10/1～11/30） ・全国食品衛生大会 ・理容組合衛生講習会 ・骨髄バンク推進月間 ・臓器移植普及推進月間 ・給食施設ふきとり検査（～11月） ・麻薬免許証申請（10月～） ・薬物乱用防止スキルアップ研修会 ・調理師試験 ・製菓衛生師試験 ・水道施設立入検査 	<ul style="list-style-type: none"> ・監視指導課食品衛生担当者会議 ・全国食品衛生大会 	<ul style="list-style-type: none"> ・管内食生活改善推進員協議会合同研修会 ・国民健康・栄養調査 ・総合母子・福祉ネットワーク事業 ・いばらきヘルスロード新規コース推薦 ・移動発達相談 ・多目的コホート研究班会議 ・茨城県がん検診推進強化月間 	
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・保健所長会 	<ul style="list-style-type: none"> ・原子力防災資機材取扱合同訓練 	<ul style="list-style-type: none"> ・麻薬免許証申請 ・食品衛生担当者会議 ・子ども食堂食品衛生講習会 ・クリーニング師試験 ・県薬剤師学術大会 ・食品衛生フェア ・薬物乱用防止キャンペーン ・毒劇物車両一斉取締り ・水道担当者会議 ・水道施設立入検査 	<ul style="list-style-type: none"> ・輸入食品収去検査（動物用医薬品） ・輸入農産物漬物収去検査（ソルビン酸） ・国産農産物漬物収去検査（ソルビン酸） ・輸入野菜収去検査（農薬） ・輸入食品収去検査（細菌） ・毒劇物車両一斉取締り ・監視指導課薬事担当者会議 	<ul style="list-style-type: none"> ・国民健康・栄養調査 ・茨城県民歯科保健大会 ・総合母子・福祉ネットワーク連携会議（管内母子保健担当者会議） ・要支援妊産婦ケース会議 	<ul style="list-style-type: none"> ・管内保健師業務研修会 ・原子爆弾被爆者一般健康診断・がん検診（医療機関委託）

	総務課	総務課 (地域保健推進室)	衛生課	監視指導課	健康増進課	保健指導課
12月	・保健所長会	・医師・歯科医師・薬剤師調査	・年末一斉食品取締り ・食中毒事例検討会	・年末一斉食品取締り ・食中毒事例検討会 ・年末食品収去検査	・国民健康栄養調査互審会 ・長期療養児療養講演会および交流会 ・出張障害者施設口腔ケア事業	・世界エイズデー関連キャンペーン
1月	・保健所長会 ・地方出納員研修会 ・関東甲信越静ブロック保健所長会 (東京)		・はたちの献血キャンペーン ・薬事担当者会議 ・茨城県食品衛生大会 ・移動採血配車計画打合せ会議 ・建築物環境衛生管理全国大会 ・認定小規模食鳥処理場衛生状況調査 ・美容組合衛生講習会 ・輸入食品の試験検査	・輸入野菜収去検査(農薬) ・アレルギー食品収去検査 (乳, 卵, 甲殻類) ・監視指導課環境衛生担当者会議 ・県北ブロック薬事担当者会議 ・ねずみ・衛生害虫駆除技術研修会 ・建築物環境衛生管理全国大会	・小児慢性特定疾病ピア相談会 ・いばらき食育推進大会 ・要支援妊産婦ケース会議 ・難病対策地域協議会	・精神障害者地域移行支援連絡協議会
2月	・保健所長会 ・茨城県保健所長会長賞表彰	・災害医療体制意見交換会	・関東ブロック環境衛生業務研究発表会 ・ねずみ・衛生害虫駆除研究協議会 ・「水戸梅まつり」食品取扱施設監視指導 ・県北ブロック薬事担当者会議 ・県北ブロック環境衛生担当者会議	・食の安全・安心委員会 ・関東ブロック環境衛生業務研究発表会 ・ペストコントロールフォーラム	・水戸保健医療圏地域・職域連携推進協議会 ・管内行政栄養士会議 ・要支援妊産婦支援体制連携会議	・ひきこもり事例検討会 ・結核コホート検討会
3月	・保健所長会	・水戸医療圏地域医療構想調整会議 ・水戸保健医療福祉協議会	・「水戸梅まつり」食品取扱施設監視指導 ・食鳥検査員会議		・管内食生活改善推進協議会役員会 ・要支援妊産婦ケース会議	・自殺対策街頭キャンペーン ・感染症発生动向調査謝金支払事務